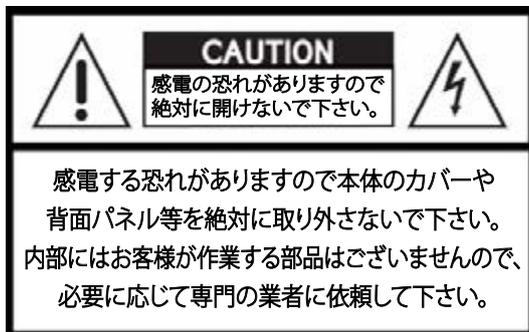


取扱説明書

9/16 Channel Digital Video Recorder

V. 1.2

安全上の注意事項



重要な2つの記号の説明



三角形内部に感嘆符記号がある表示は、付属に商品資料による重要な操作項目やメンテナンスの警告を意味するものです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が障害を負う可能性が想定され、また物的損害の発生も想定されます。



三角形内部に雷放電記号がある表示は、機器の内部回路に、“危険な電圧”が加わっていることを意味し、感電などにより人の死亡または重症を負う可能性が高いことが想定されます。

注 意

この製品には、複数の定格電圧 (110V ~ 220V) があります。
電源を接続する前に取扱説明書をご参照の上、電源電圧をご確認下さい。
付属の電源ケーブル以外はご使用にならないで下さい。
この製品はリチウム電池を使用します。
本体に誤った電池を設置しますと、爆発する恐れがあります。
また、不要になりました電池は正しい方法に従って処分して下さい。
この製品及び全ての配線・コネクタ等は、屋内使用に限定して作られています。
感電や火災の危険を減らす為に、雨や湿気にはさらさないで下さい。

警 告

この製品は専門家により設定してください。カメラ、オーディオあるいはセンサーケーブルを接続する場合、DVRの電源はお切りください。

この製品の取扱説明書に従わず不適切な使用をした場合の損害は、当社は一切責任を負いません。お客様がDVRを分解した場合、どんな問題があったとしても当社は一切責任を負いません。

ラック取付け要領

ラック取付けのためのガイドを記載しておりますので注意事項を守り設置して下さい。

A) 動作周囲温度が高い場合

密閉した、または複数のユニットを収めるラックアセンブリの中に設置したときは、ラック環境の動作周囲温度が室温よりも高くなることがあります。したがって、設置に際してはメーカーが指定する最高周囲温度 (T_{ma}) に見合う環境に設置するよう配慮が必要です。

B) 空気の流れが少ない場合

機器をラックに設置する際には、機器の安全な動作に必要な空気の流れが確保されるようにすることが必要です。

C) 機械負荷

機器をラックに設置する際には、機械負荷が均一でないために危険な状態が起こらないようにする必要があります。

D) 回路の過負荷

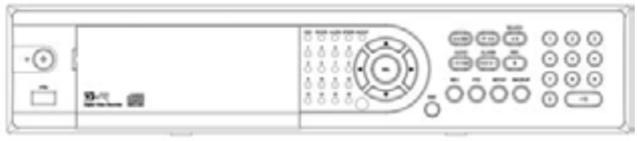
電源回路への機器の接続と、回路の過負荷が過電流保護と電源配線に及ぼす影響に配慮する必要があります。この問題に対処する際には、機器銘板に記載の定格を考慮することが必要です。

E) 確実な接地

ラック取付け機器の確実な接地状態を維持することが必要です。分岐回路への直接接続以外の電源接続には特別な注意が必要です (例: テーブルタップの使用など)。

梱包内容

梱包内容にはDVRに必要なものが含まれています。開梱時に下記内容物が入っているか確認して下さい。不足しているものがありませんでしたら、最寄りの代理店にご連絡下さい。

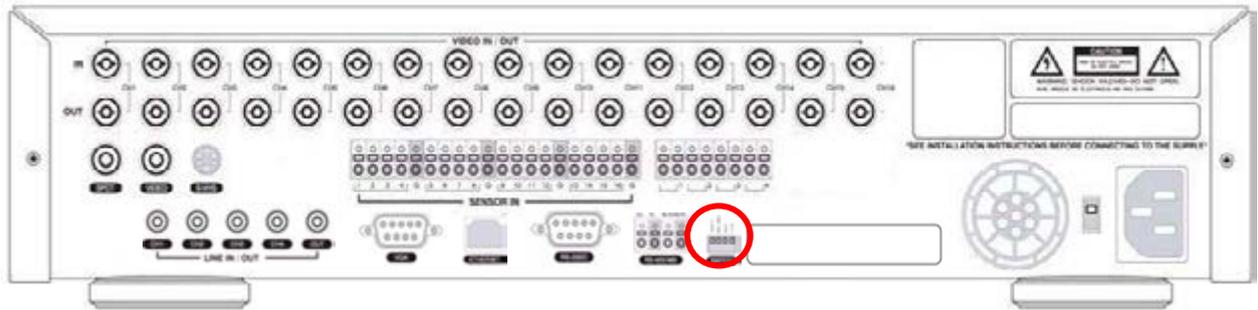
デジタルビデオレコーダー	
ネットワーククライアントソフト CD-ROM	
リモコン	
電池	
取扱説明書	
HDD 取付金具用ゴムリングとネジ	
IDE ケーブル	
ハードディスクブラケット (SATAコンバーターボード付属)	
4分配電源ケーブル	
サブ電源ケーブル	
AC電源ケーブル	

リモコン操作方法



POWER	電源 オン/オフ
DISPLAY	全画面 /4分割/9分割/16分割の画面表示切替え
F/REW	1分前にジャンプして戻る
PLAY	再生 / 一時停止
F/ADV	1分前にジャンプして進む
REW	逆再生
BACKUP	バックアップ
FF	早送り再生
ALARM	アラーム動作を使用不能にします
SETUP	設定メニュー画面
AUDIO	OFF、ミュート、または選択されたチャンネルに限ります
LOCK	機能をロックします
SEQ	全画面または分割画面のシーケンシャル画面切り替え
RECORD	手動録画
SEARCH	検索メニュー画面
DIRECTION	方向または 1 番～ 4 番
SELECT	決定ボタン
ID	DVR ID (ID ボタン + DVR ID 番号)
ESC	エスケープボタン (戻る)
PTZ	PTZ メニュー画面
NUMBER	チャンネル 1 から 9 また ID 0 から 9
+10	チャンネル 10 と チャンネル 11 から 16 10CH +10 と数字 0を押す 11CH +10 と数字 1を押す 12CH +10 と数字 2を押す 13CH +10 と数字 3を押す 14CH +10 と数字 4を押す 15CH +10 と数字 5を押す 16CH +10 と数字 6を押す (+10 ボタンはIDには使用できません)

映像信号選択 / 設定方法



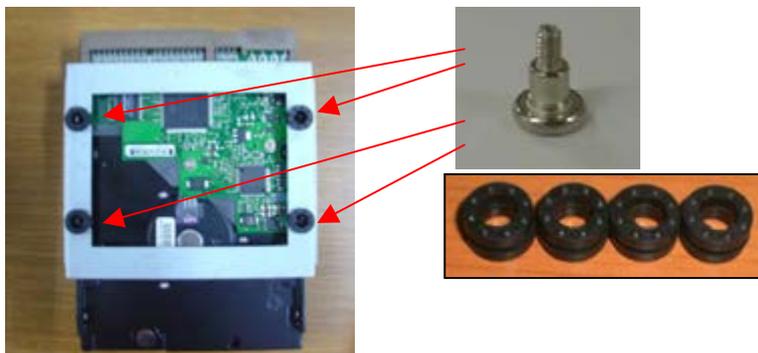
設置方法	ビデオモード		出力方式	
	NTSC	PAL	BNC	VGA
<p>Diagram showing the video mode switch set to PAL and the BNC output selected.</p>	O	X	O	X
<p>Diagram showing the video mode switch set to NTSC and the BNC output selected.</p>	X	O	O	X
<p>Diagram showing the video mode switch set to PAL and the VGA output selected.</p>	O	X	X	O
<p>Diagram showing the video mode switch set to NTSC and the VGA output selected.</p>	X	O	X	O



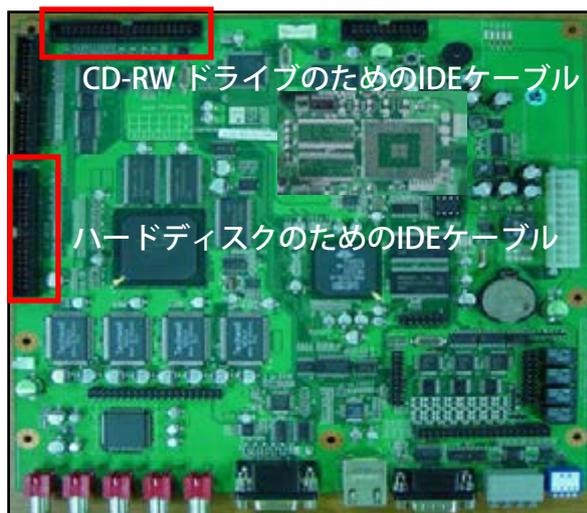
電源がオンの状態で、設定を変えないで下さい。
新しい設定を適用するためにはDVRを再起動する必要があります。

PATAハードディスクの取付け

ハードディスクブラケットをハードディスクにねじ込み、ゴムリングを挿入して下さい。



2個のハードディスクを取付ける際には、1個を『マスター』として設定して下さい。



IDEケーブルと電源ケーブルをCD-RWドライブにしっかり挿入して下さい。



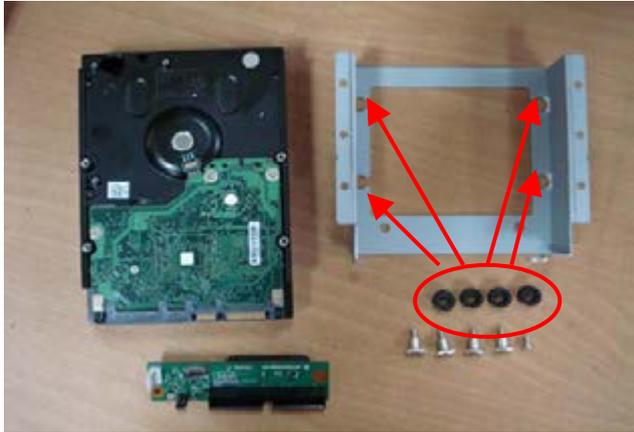
IDEケーブルと電源ケーブルをハードディスクにしっかり挿入して下さい。

ハードディスクをシャーシに固定して下さい。

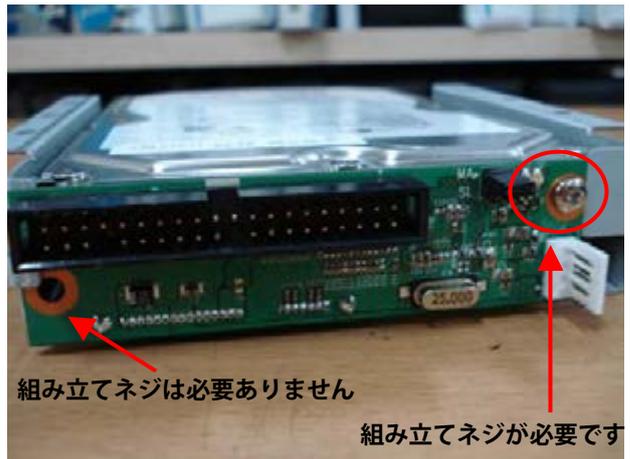


SATA ハードディスクの取付け

1. ゴムリングをブラケットに挿入し、ブラケットとハードディスクをネジで固定して下さい。



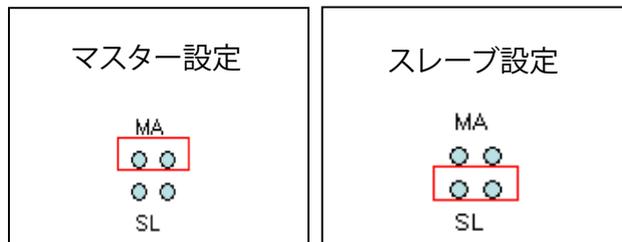
2. ブラケットにSATAコンバーターボードを組み立てて下さい(事前に組み立てて出荷されます)。



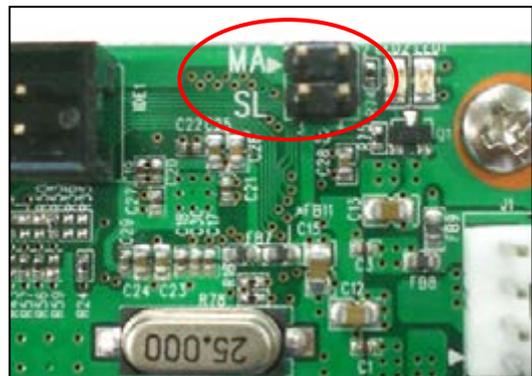
3. SATAコンバーターボード上でマスター/スレーブ ジャンパーピンを設定します。



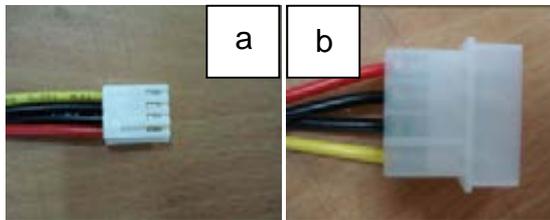
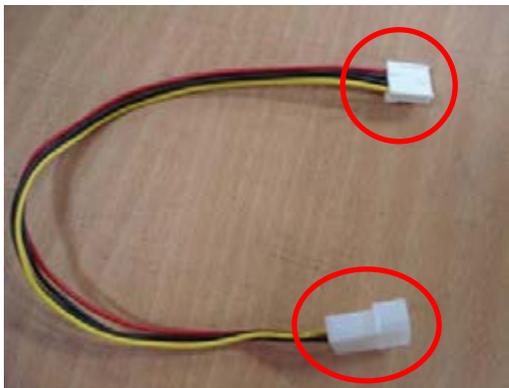
2台のハードディスクをインストールする際、1台目を「マスター」・2台目を「スレーブ」として設定します。



※ マスター/スレーブを設定する際、ジャンパーピンを挿し換えて下さい。



4. IDEケーブル、電源ケーブルの接続



a. SATAコンバーターボード用コネクタ
b. メインの電源ケーブル用コネクタ

SATAコンバーターボード用のサブ電源ケーブル



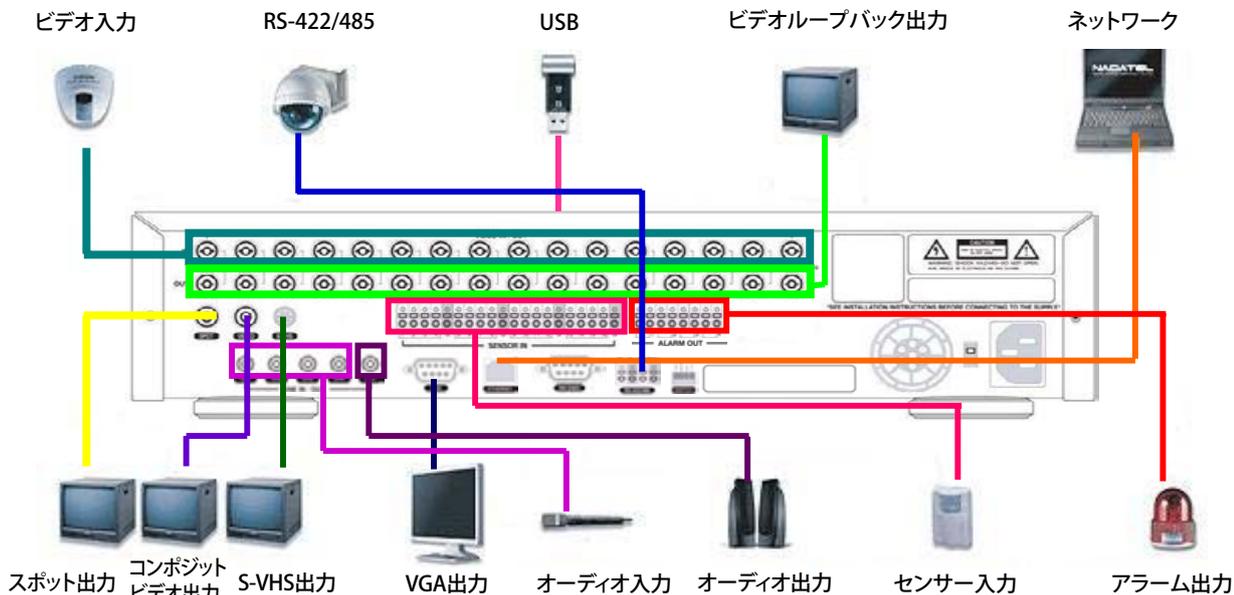
電源ケーブルおよびIDEケーブルをしっかりと差し込んで下さい。

5. 2つのハードディスクを挿入して下さい。

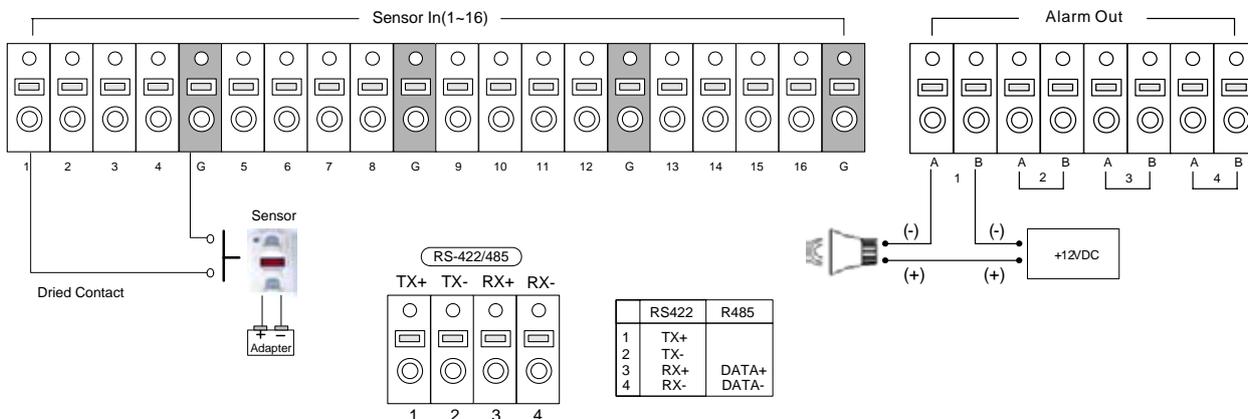


- SATAコンバーターボードのマスター/スレーブ ジャンパーを確認して下さい。
- マスターハードディスクのためのマスターとスレーブハードディスクのためのサブ電源ケーブルに SMPSの電源ケーブルを使用して下さい。
- SMPSからの電源コネクタで足りない場合は同梱の4分配電源ケーブルを中断接続し使用して下さい。

システム概要



カメラコントロールとセンサー入力/アラーム出力配線図



センサー入力：センサー(赤外線センサ、熱感知センサ、地磁気検出器)の無電圧接点を接続できます。必要なセンサー番号とG端子(共通グランド)に接続して下さい。(設定画面からセンサータイプをNC(ノーマルクローズ)かNO(ノーマルオープン)が選択できます。)

アラーム出力：使用する機器はAC125V/0.5AまたはDC30V/1A以下でご使用下さい。ランプやACで作動する機器を制御する場合には、それぞれに外部のリレーを使用して下さい。通常ノーマルオープンで動作中は、制御出力接点は「Open」状態を維持しています。アラーム出力している間、接点出力は「Close」状態に変わります



センサー入力は必ず乾式接点のものをご利用下さい。
どんな電気信号も入力しないで下さい。

目次

1. 特徴	14
2. 前面パネル / 背面パネル	15
2-1. 前面パネル	15
2-2. 背面パネル	17
3. 設定	18
3-1. 設定メニュー	18
3-2. ライブ	20
3-3. 録画	21
3-3-1. モーション領域	22
3-3-2. 録画スケジュール	23
3-4. デバイス	24
3-4-1. アラームアウト	25
3-4-2. パンチルトズーム	25
3-4-3. スポットアウト	26
3-5. システム	27
3-6. セキュリティ	29
3-7. ネットワーク	30
3-7-1. ポート	30
3-7-2. ネットワークタイプ	31
3-7-3. DDNS	33
3-8. 録画装置	34
3-9. 設定の保存	34
4. ライブ&検索	35
4-1. ライブ画面	35
4-1-1. パン/チルト/ズーム/フォーカス操作	37
4-2. 検索	38
4-2-1. 時間帯検索	38
4-2-2. イベント検索	39
4-2-3. 日時指定検索	40
4-2-4. 先頭検索	40
4-2-5. 終端検索	41
4-2-6. ログ	41
4-2-7. アーカイブ	42
4-3. 録画再生モード	43

5. 映像のCD-RWまたはUSB記録装置への保存方法	44
5-1. 静止画と動画の保存	44
5-1-1. ライブモードでの静止画像の保存	44
5-1-2. 録画再生モードでの静止画像の保存	44
5-1-3. 動画の保存	45
5-2. 静止画または動画をCD-RWまたはUSBメモリースティックに転送する際の注意事項	46
5-3. PCIによるバックアップメディアの再生方法(USBメモリースティック)	46
6. ネットワーク クライアント ソフトウェア	48
6-1. 概要	48
6-2. PC最低動作環境および推奨動作環境	48
6-3. ソフトウェアインストール方法	49
6-4. ライブ画面	49
6-4-1. メイン画面	49
6-4-2. メインコントロールパネル	50
6-5. 検索&録画再生画面	51
6-5-1. メイン画面	51
6-5-2. 検索メインコントロールパネル	52
6-5-3. バックアップ	53
6-6. システム構成	54
6-6-1. General(基本設定)	54
6-6-2. Site(サイト)	55
6-6-3. Event(イベント)	56
6-6-4. Record(録画)	57
6-6-5. Disk(ディスク)	58
6-6-6. About(アバウト)	58
7. ファームウェアアップグレード	59
A-1. DDNS (Dynamic Domain Name System)	60
A-1-1. 無料のDDNSサービスでIDとPasswaordを作成	60
A-1-2. ドメイン名の登録	61
A-1-3. 登録したドメイン名を利用したDVRへのアクセス方法	63
A-1-4. ドメイン名マネジメント	64
A-2. ハードディスクの適合性	65
A-3. 仕様	66
A-4. PTZ プロトコル(カメラ名リスト)一覧表	68
A-5. 対応USBメモリー 一覧表	68
A-6. 録画期間表	69
A-7. 保証書	70

1. 特徴

- 9/16チャンネルリアルタイムライブディスプレイと9/16チャンネル同時録画再生
- MPEG-4 最高の録画画質と圧縮比。録画スペースと必要なネットワーク伝送帯域幅を最小にする最良のフォーマット
- トリプレックス方式 録画、再生およびネットワーク経由伝送
- 信頼性 リアルタイムオペレーティングシステムと簡易構造のハードディスク。さらにウォッチドッグタイマーが信頼性を確かなものにします。
- 独立したフレームレートでの個別チャンネル録画と再生
- ライブと録画再生時の高い解像度
- マルチサイトマネージメント CMSアプリケーション(同梱していません)によってサポートされます。
- ネットワーク機能 遠隔ライブ、録画再生、PTZF制御とバックアップ
- LAN、DHCPおよびADSLを経由するネットワーク(動的、静的IPアドレス)
- 4チャンネル録音
- グラフィックユーザーインターフェースを組み合わせたユーザーに優しい設定メニュー
- 複雑な週間録画計画を簡単にスケジュール化
- モーション検出 30x24のグリッドを使ってそれぞれのカメラのモーションゾーンを定義します。
- JPEG、MPEGのデータバックアップ用のUSBポートと、USBフラッシュメモリーを利用するソフトウェアのアップグレード
- JPEGフォーマットでの静止画像キャプチャーと閲覧
- 内部パン/チルト/ズーム/フォーカスコントローラー
- 前面パネルのボタンによる容易な操作とオプションのリモコン
- パスワード認証によるユーザー確認
- ビデオロス検出
- バックアップ 静止画またはAVIデータをUSBフラッシュメモリー、内部CD-RWおよびネットワークに保存します。
- 多様なハードディスクサイズ 長時間録画用の最大1TBを内蔵 (500GBハードディスクHDDX2)ハードディスク
- 多言語対応 設定メニューから言語を選べます。
- 各種のビデオ出力 コンポジットビデオ、VGA(800x600 24Bitカラー)、S-VHS、SPOT

2. 前面パネル / 背面パネル

2-1. 前面パネル

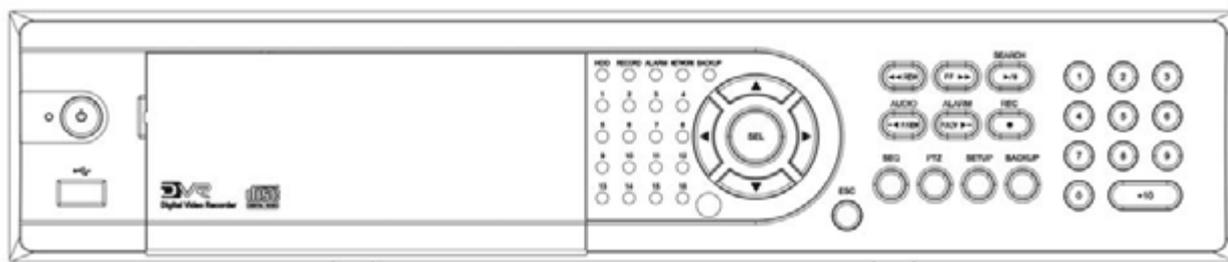


図2.1.1 前面パネル

表2.1.1. LED表示

LED	内容
HDD	システムがビデオデータにアクセスしている時に点灯します。
REC	システムがビデオデータを記録している時に点灯します。
ALARM	アラームセンサーが作動した時またはモーションが検出された時に点灯します。
NETWORK	クライアントがネットワークを経由してシステムに接続されている時点灯します。
BACKUP	システムが画像をUSBスティックまたはCDに保存する時に点灯します。

表2.1.2. 前面パネルボタン

ボタン	内容
	電源オン/オフボタン。これを押してDVRシステムを起動、終了させます。システムを終了させる場合は管理者パスワードの入力が必要です。工場設定パスワードは『1111』です。
	これを押してチャンネル番号またはパスワードを選びます。10から16までのチャンネル番号を選ぶ際には、+10ボタンと数字を押して下さい。
SEQ	このボタンを押して、全画面または4分割画面のシーケンシャル表示をスタートさせます。
PTZ	このボタンを押してライブディスプレイモードでPTZ操作をコントロールします。
SETUP	このボタンを押して設定メニューを開始します。
BACKUP	ライブまたは録画再生モード中に、このボタンを押して保存に関係のある動作をスタートさせます。
	このボタンを押すと、録画再生中に1倍、2倍、4倍および8倍の速度で逆再生します。

	録画再生モードでのジャンプ/ステップ、録画再生位置が1分前に戻ります。ライブディスプレイモードでのサウンド機能(消音、選択したチャンネルまたはすべてのチャンネルのサウンド)
	録画再生モードでのジャンプ/ステップ、録画再生位置が1分先に進みます。ライブディスプレイモードでアラームアウト機能のオン/オフ。
	このボタンを押すと、録画再生中に1倍、2倍、4倍および8倍の速度で早送りします。
	このボタンを押すと、検索メニューに移動します(時間軸/イベント/日時指定検索/先頭検索/終端検索/ログ/アーカイブ)。また、録画再生中にデータを再生または一時停止することができます。
	このボタンを押すと、手動録画をスタートまたはストップすることができます。
	このボタンを押すと、設定モードではメニュー項目を上に移動することができ、ライブモードではカメラ1を選ぶことができます。またパスワードを入力するときには数字の1として使用されます。
	このボタンを押すと、メニューの中を右に移動することができ、設定モードでは数値を変え、ライブモードではカメラ2を選ぶことができます。またパスワードを入力するときには数字の2として使用されます。
	このボタンを押すと、設定モードではメニュー項目を下に移動することができ、ライブモードではカメラ3を選ぶことができます。またパスワードを入力するときには数字の3として使用されます。
	このボタンを押すと、メニューの中を左に移動することができ、設定モードでは数値を変え、ライブモードではカメラ4を選ぶことができます。またパスワードを入力するときには数字の4として使用されます。
	このボタンを押すと、ライブディスプレイモードで全画面、4/9/16分割画面を選ぶことができます。またメニューの中で希望のメニュー項目を選び、または設定値を保存することができます。
	このボタンを押すと、前回のメニュー画面に戻ります。
	前面パネルの左側にUSBポートが1個あります。このUSBポートを使って、データをUSBメモリースティックに保存することができます。

2-2. 背面パネル

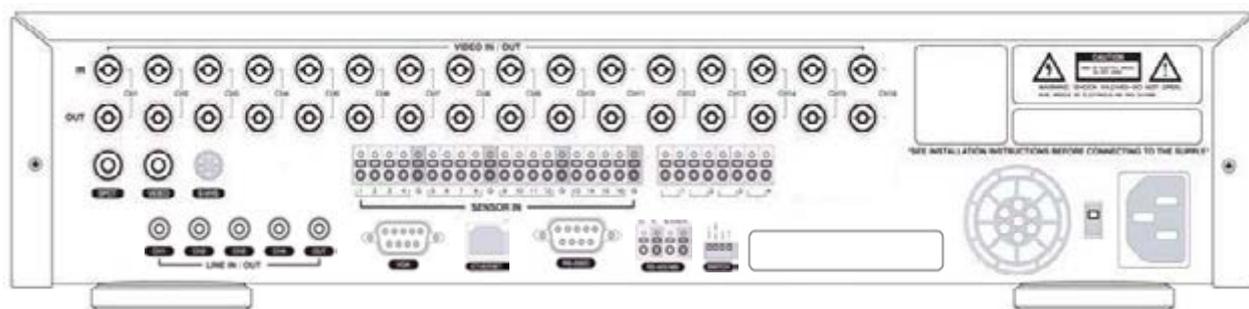


図2.2.1. 背面パネル

表2.2.1. 背面パネル接続

名称	内容
VIDEO IN	ビデオ入力(NTSC/PAL)用コネクター
VIDEO OUT	ビデオループバック出力(NTSC/PAL)用コネクター
SPOT	ビデオスポット出力(NTSC/PAL)用コネクター
VIDEO	コンポジットビデオ出力(NTSC/PAL)
S-VHS	S-VHSビデオ出力
VGA	VGAモニター用コネクター
LINE IN	オーディオ入力用コネクター 4個(Lineレベル)
LINE OUT	オーディオ出力用コネクター 1個(ヘッドホン/スピーカーに接続)
RS-232	技術者のみ使用
ETHERNET	10/100BASE-Tイーサネット接続用コネクター
RS-422/485	カメラコントロール用
SENSOR IN	センサーデバイス接続用コネクター。ノーマルオープン(NO)またはノーマルクローズ(NC)センサーをそれぞれのセンサーとして選ぶことができます。
ALARM OUT	アラームデバイス接続用コネクター。 リレーを使う簡単なオン/オフスイッチング。
POWER	AC115/230V電源入力(マニュアル選択)。 システムをインストールする前に、電源選択スイッチを再確認して下さい。
SWITCHES	NTSC/PAL、BNC/VGA選択スイッチ
TEST	常時OFF (上) のままご使用下さい。お客様での変更の必要はありません。
485/422	RS485又はRS422の選択。RS485はスイッチがOFF(上)の時、選択されます。
VGA	VGAモニターかビデオ入力モニターの選択(スイッチはVGAの時、下げます)。
PAL	NTSC又はPALのビデオタイプ選定(スイッチはPALの時、下げます)。

3. 設定

次のセクションは、DVRに最初に行う設定について詳しく解説します。

3-1. 設定メニュー

SETUPボタンを押すとパスワードを求められます。初期設定のパスワードは1111です。上方向ボタン

()または1のボタン()を4回押して入力した後、SELボタンを押して下さい。システムを保護

するために早めに新しいパスワードへの変更をお勧めします。パスワード変更の手順は3-6. セキュリティを参照して下さい。4つの方向キーでパスワードを入力してからSELボタンを押して下さい。正しいパスワードが入力されると、図3.1.1の画面が表示されます。入力されたパスワードが正しくない場合には「パスワードは無効です！」と表示され、再度入力を促されます。

設定したいメニュー項目を選択してSELボタンで実行してください。

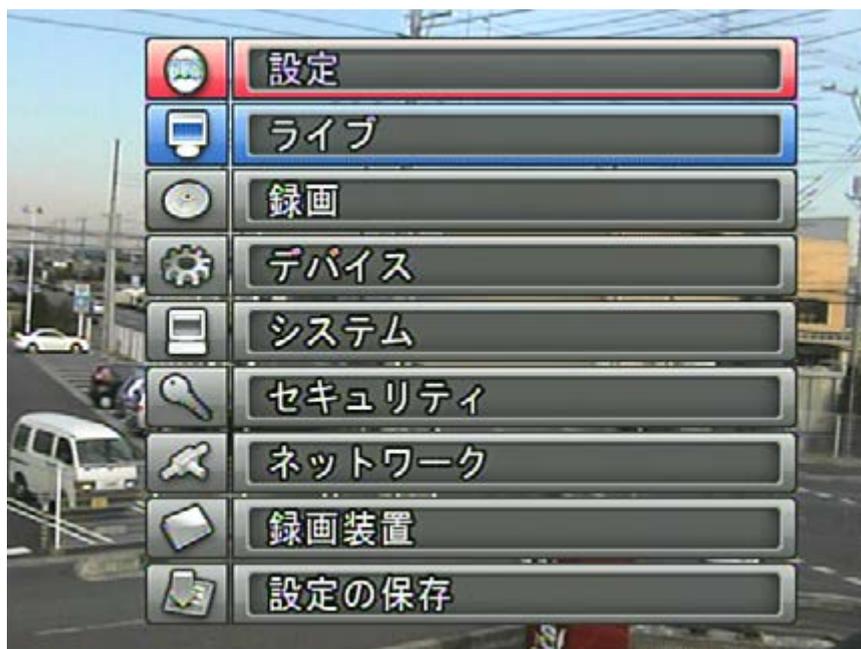
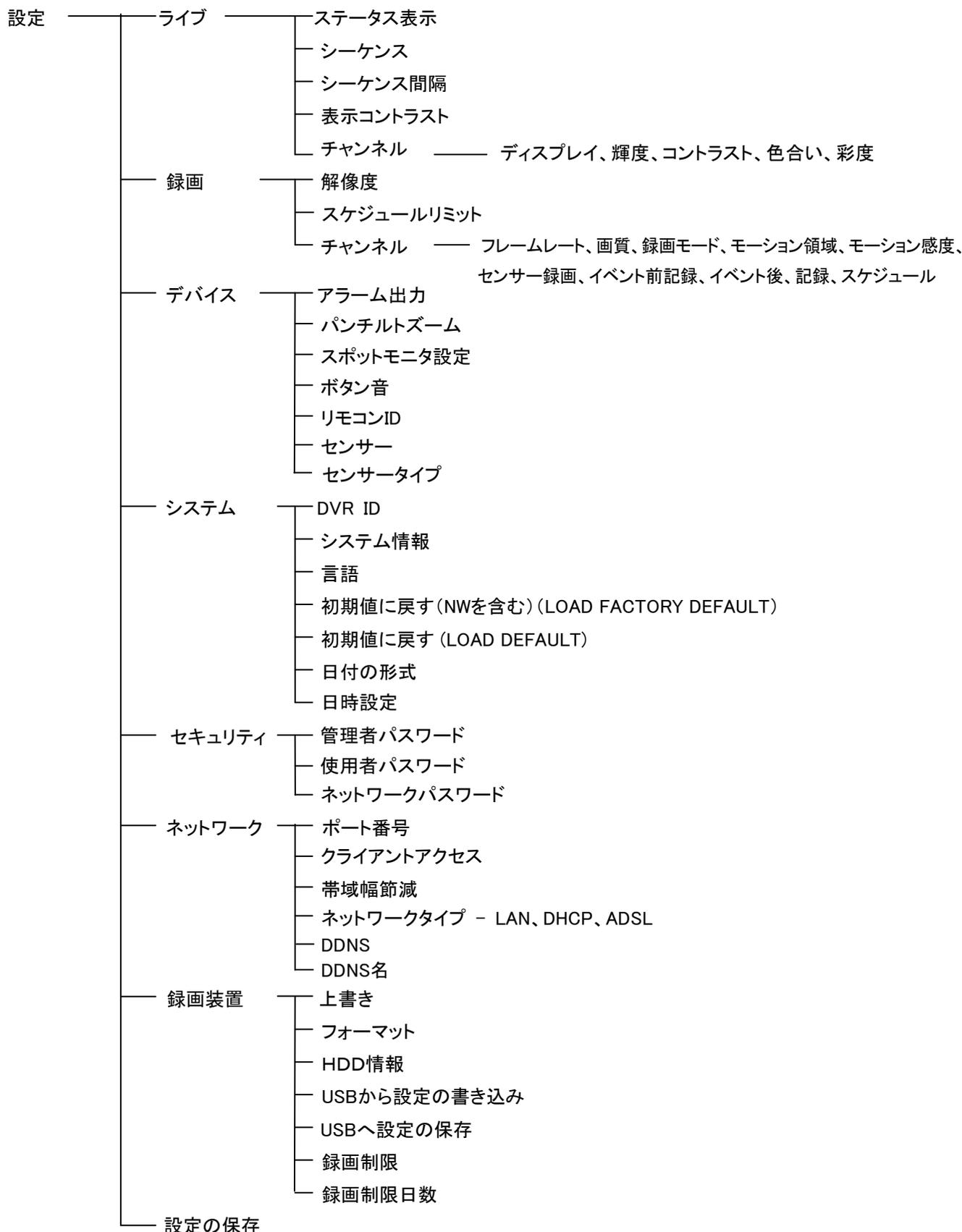


図 3.1.1. 設定メニュー画面

▶ 設定メニュー構成



3-2. ライブ

ライブディスプレイ用の数値を設定して下さい。

上下ボタンを押しながらメニュー項目を移動します。

メニュー画面のライブモード設定項目

ステータス表示 画面表示(OSD : On Screen Display)の表示・非表示の選択ができます。

シーケンス 画面を全画面または4分割画面に自動的に切り替えて表示する機能のオン/オフを選択できます。

シーケンス間隔 シーケンシャルモード時の画面の表示間隔を選択できます。

表示コントラスト 画面表示(OSD)の濃淡を設定します。

チャンネル 以下の設定を適用するチャンネルを『右方向ボタン』『左方向ボタン』で選択して下さい。

ディスプレイ ライブ画面モード時の画面表示のON/OFFの選択ができます。(録画はされます)

輝度 指定したチャンネルの明るさの値を変更できます。

コントラスト 指定したチャンネルのコントラストの値を変更できます。

色合い 指定したチャンネルの色合いの値を変更できます。

彩度 指定したチャンネルの彩度の値を変更できます。



図 3.2.1. ライブモード設定画面

3-3. 録画

動画を録画するための値を設定してください。設定画面が表示されたら上方向(1)ボタン、下方向(3)ボタンを操作してメニュー画面の『録画選択』をして下さい。右方向(2)ボタン、左方向(4)ボタンを押すことでメニュー項目の値を変更できます。

メニュー画面の録画設定項目

解像度 録画解像度を設定します。(352*240, 704*240 又は 704*480)

スケジュールリミット(SCHEDULE LIMIT) スケジュール録画のリミットのON/OFF。SELボタンを押して期間を設定。このリミット機能はスケジュール録画モードを可能にします。

チャンネル 以下の設定を適用するためのチャンネルを選択して下さい。

フレームレート フレームレートを設定して下さい。各チャンネルのフレームレートは決められた最大フレーム数を超えて設定することはできませんのでご注意ください。

代表的なNTSC映像信号の値は

352×240(NTSC)の場合=合計120枚/秒 (120fps)

704×480(NTSC)の場合=合計30枚/秒 (30fps)

*fps=フレームパーセコンド：1秒間に録画するフレーム（画像）数の単位

画質 指定した録画チャンネルの録画品質を『ネットワーク』・『低』・『標準』・『高』・『最高』の5段階から選択して下さい。

録画モード チャンネルごとに記録方式を設定できます。

記録方式：『常時録画』・『モーション録画』・『センサー録画』・『スケジュール録画』・『録画しない』

モーション領域 モーションを使用する場合、『全領域』か『検出枠』を選択して下さい。SELボタンを押し、モーション検出領域を設定して下さい。

モーション感度 指定したチャンネルのモーション感度を1～9の間で設定できます。

1（鈍感）⇒5（普通）⇒9（敏感）

センサー録画 (SENSOR RECORDING) 指定チャンネルを録画するセンサーを選んで下さい。DEVICEセットアップメニューからセンサータイプを設定することができます。(なし、ノーマルオープン、ノーマルクローズ)

イベント前記録 イベント前記録を使用するかしないかの選択ができます。イベント前記録時間は5秒であり、毎秒1フレームでイベント前記録として録画されます。

イベント後記録 指定したチャンネルのイベント後記録の記録時間を設定して下さい。記録時間は2秒～30秒の間で設定できます。

録音 指定したチャンネルのオーディオ(音声)録音のON/OFF設定ができます。

スケジュール スケジュール録画の設定が行えます。SELボタンを押してスケジュールを設定して下さい。



図3.3.1. 録画モード設定画面

3-3-1. モーション領域

全領域=全ての領域で動きを検知します。

検出枠=モーション領域の選択で『検出枠』を選択すると図3.3.2.が現れます。

任意の場所にモーション検知の領域を設定することができます。

4つの方向キーを使用して領域を動かしSELボタンで確定して下さい。

1つの領域または複数の領域を指定することができます。

モーション検知領域は指定した領域の色が変わることで示されます。



図3.3.2. モーション領域選択画面

3-3-2. 録画スケジュール

録画設定メニューからスケジュールを選択し、録画スケジュールを設定して下さい。
4つの方向キーとSELボタンを使用して赤く強調されている部分のスケジュールを変更して下さい。

スケジュールの録画スケジュール設定項目

コピー元: 左/右方向ボタンを押してコピー先とするチャンネル番号のスケジュール設定を指定して下さい。SELボタンを押すと、コピー元に指定したチャンネル番号のスケジュールが設定中のチャンネル番号にコピーされます。

コピー先: 左/右方向ボタンを押してコピー先にするチャンネル番号のスケジュール設定を指定して下さい。SELボタンを押すと、コピー先に指定したチャンネルのスケジュール設定に設定中のスケジュールがコピーされます。

[ALL]: [すべて] が強調されているときは、SELボタンを押して選んだ録画モードが指定したチャンネルの時間帯全体に適用されます。

[DAY]: 週のうち特定の日が強調されているときは、SELボタンを押して選んだ録画モードが指定したチャンネルのデイゾーン全体に適用されます。

[|]: 垂直のライン"|"の1つが強調されているとき、SELを押して選んだ録画モードが選んだ時間帯について、毎日適用されます。(垂直のライン"|"はそれぞれ、1時間に相当します)

[DAY]と $[|]$ が交差: 特定の交差点が強調されているときは、SELボタンを押して選択した録画モードがその日と時間帯に適用されます。

[C]: 常時録画モード

[.]: 録画しない (画面表示のみ)

[M]: モーション録画モード

[S]: センサー録画モード

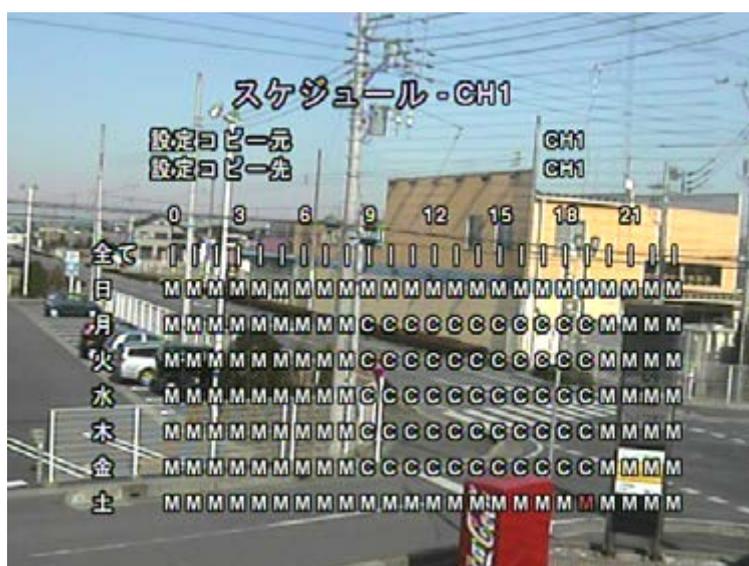


図 3.3.3. スケジュール録画設定画面

3-4. デバイス

接続デバイスのための値を設定して下さい。上下ボタンを押してメニューをナビゲートします。左右方向ボタンを押してメニュー項目の値を変えることができます。

メニュー画面のデバイス設定項目

アラーム出力 モーション検出、センサー入力およびビデオロスのためのアラーム信号を発生させる設定を行います。次にアラーム継続時間を設定します。

パンチルトズーム カメラ制御データの速度、番号、タイプ、およびIDを設定します。

スポットモニタ設定 スポットタイプ、スポットイベント時間、シーケンス、シーケンス間隔, およびチャンネルを設定します。

ボタン音 ボタンのビープ音機能のON/OFFを決めます。

リモコンID リモコンのIDを選んで下さい。次の順序に従って下さい：

ステップ 1. 1から9の間でIDを選んで下さい。

ステップ 2. DVRに設定したIDと同じ番号をリモコン上で押して下さい。

ステップ 3. そうすると  アイコンがリモコンに対応するDVRのライブ画面に現れます。

センサー 下記の設定を適用するためにセンサー番号を選びます。

センサータイプ 指定チャンネルのセンサーのタイプを、なし、N/O（ノーマルオープン）およびN/C（ノーマルクローズ）から選びます。



図3.4.1. デバイスモード設定画面

3-4-1. アラーム出力

デバイスメニューの中のアラーム出力を選び、図3.4.2に示す画面の中のアラームアウトを設定することができます。

メニュー画面でのアラーム出力設定項目

アラーム出力 下記の設定を適用するためにアラーム番号を選びます(1から4)。

センサー検知 センサー検出イベント発生のためのアラームを発生させる設定を行います。

モーション検知 モーション検出イベント発生のためのアラームを発生させる設定を行います。

映像なし検知 ビデオロスイベントの発生のためのアラームを発生させる設定を行います。

アラーム維持時間 アラーム継続時間を設定します(1~255秒)。



図 3.4.2. アラーム出力設定画面

3-4-2. パンチルトズーム

デバイスメニューでパンチルトズームを選び、図3.4.3に示す画面上でPTZ制御オプションを設定することができます。カメラを正しく制御するには、正しいカメラ制御データの速度、番号、タイプ、およびIDを設定して下さい。カメラのPTZ機能を制御するには、コントロール信号線を背面パネルのRS-485/422ポートに接続して下さい。

メニュー画面でのパンチルトズーム設定項目

CH 下記の設定を適用するためにチャンネル番号を選びます。

カメラ名 カメラのプロトコルのタイプを選んで下さい。必ずカメラと一致させてください。

カメラ速度 カメラ制御データ速度を選びます(2400~19200bpsの範囲がサポートされています)。

カメラID カメラが特定のIDを持っていれば、そのカメラIDを選びます(0~63)。



図3.4.3. パンチルトズーム設定画面

3-4-1. スポットモニタ設定 (SPOT OUT)

デバイスメニューでスポットモニタ設定を選び、図3.4.4.に示す画面でスポットモニタを設定します。

デバイスのスポットモニタ設定項目

画像表示

全画面 スポットアウト表示を行うために、選択したチャンネルを拡大するように設定します。

4分割 スポットアウト表示を行うために、4分割画面を設定します。

イベント時スポット出力 イベント検出発生のためのスポットアウトディスプレイの使用/不使用を設定します。

イベント時スポット画面表示時間 イベントのスポットアウト表示の時間間隔(1~10秒)

シーケンス 全画像モードでのビデオチャンネルのシーケンススポットアウト表示の使用/不使用を設定します。

シーケンス間隔 シーケンシャルモード時の各チャンネルのスポットアウト表示の時間間隔(1~10秒)

スポットCH スポットアウトのためのビデオチャンネル番号を選びます。



図3.4.4. スポットアウトモニタ設定画面

3-5. システム

このメニューではシステムの設定値の入力・変更ができます。

設定画面が表示されたら上方向 (1) ボタン、下方向 (3) ボタンを操作してメニュー画面の『システム』を選択して下さい。右方向 (2) ボタン、左方向 (4) ボタンを押すことでメニュー項目の値を変更できます。

システムのメニュー項目

DVR ID システム名を右方向ボタンと左方向ボタンで移動して変更したい英数字まで行き、上方向ボタンと下方向ボタンで変更して下さい。最後にSELボタンで確定します。

システム情報 SELボタンを押すと(ハード及びソフトウェアバージョン、HDDサイズ、IPアドレス、MACアドレス) 情報を見ることができます。

言語 (LANGUAGE) 言語を選択します。(韓国語/英語/日本語/イタリア語/ロシア語/ノルウェー語/チェコ語/スペイン語/中国語/トルコ語/フランス語/フィンランド語/オランダ語)

初期値に戻す (NWを含む) (LOAD FACTORY DEFAULT) ONを選びSELボタンを押すと工場出荷時設定に戻ります。『初期値に戻す(NWを含む)』を選ぶと、DVRは自動的に再起動します。

初期値に戻す (LOAD DEFAULT) ONを選びSELボタンを押すとユーザー設定に戻ります。

『初期値に戻す』を選ぶと、DVRは自動的に再起動します。すべての値はユーザー設定値に変わります。ただしパスワード、日付の形式、時間、ネットワークおよび保存上書きの値はそのままです。

日付の形式 所要の日付と時間の表示を選びます。

日時設定 現在の日付と時間を設定できます。日付と時間を変更するとDVRは自動的に再起動します。



図3.5.1. システム設定画面



図3.5.2. DVR ID設定画面



図3.5.3. システム記述画面



図3.5.4. 日時設定画面

※サマータイム設定は日本では使用しませんのでOFFのままご使用下さい。

3-6. セキュリティ

メニューが選択されると、DVRは現在のパスワードと新しいパスワードを尋ねます。

パスワードの入力には方向キー( 1,  2,  3,  4)または番号キー()を
使います。工場設定パスワードは1111です。

セキュリティメニュー項目

管理者パスワード 管理者用パスワードを設定して下さい。

管理者はシステムのすべての機能を使うことができます。

使用者パスワード ユーザー用パスワードを設定して下さい。

*ユーザーはsetupとpower offを使うことができません。

ネットワークパスワード ネットワーククライアントユーザーのパスワードを設定して下さい。



図3.6.1. セキュリティ設定画面

3-7. ネットワーク

ネットワークの設定値入力・変更はこの画面から行えます。これらの設定値は、ネットワーク上のDVRに接続される、遠隔からのクライアント接続のために使用されます。お客様の環境によってルーターやハブを必要とする場合があります。

ネットワーク設定画面のメニュー項目

ポート番号 DVRのポート番号設定(初期値：5445)。

通常はプロトコル障害を避けるためポート番号を変えないで下さい。

クライアントアクセス ネットワーククライアントアクセスの可能/不可能の選択

帯域幅節減 ネットワーク帯域幅がライブビデオストリーミングにとって十分でない場合、使用/不使用を設定します。

ネットワークタイプ ネットワーク接続タイプを選択できます。LAN、DHCP、ADSL

DDNS DDNSサービスの使用を有効/無効に設定します。IPアドレスでなくてドメインネームでネットワークと接続するときには、DDNS ONを選びます。

DDNS名 DDNSサーバー名はipdvrfree.comです。(サーバー名を変えると接続できません)



図3.7.1. ネットワーク設定画面

3-7-1. ポート

1台または複数のDVRを1台のIPシェアリングデバイスを経由してネットワークに接続するとき、それぞれのデバイスは、LAN外部からそれぞれのユニットにアクセスするための固有のRTSPポート番号を持つ必要があります。またIPシェアリングデバイスにはポート・フォワーディングのための機器構成が必要です。このようにすると、それぞれのポートはIPシェアリングデバイス上でアクセスを受ける時、適切なDVRに接続されます。このポート番号はネットワークメニューのポートメニューオプションの隣にリストされています。ユーザーが同じローカル・エリア・ネットワークの内部からDVRに単にアクセスするのであれば、RTSPポートを変更する必要はありません。

ルーターを越えてのアクセスについて



ルーター（ファイアウォール）を越えてアクセスするには、ユーザーは1個のTCPポートを開かなければなりません。このポートが正しく開かれてないと、ユーザーはルーターを越えてDVRにアクセスすることができません。もし設置されているDVRのポート番号『5445』がすでに設定されている場合、ユーザーはルーターの5445/tcpポートを開く必要があります。

3-7-2. ネットワークタイプ

3つのネットワークタイプがあります。それぞれのタイプには、別々の設定が必要です。ネットワークタイプの変更には左右方向ボタンを使用します。

SELボタンを押し、上下ボタンを押してメニューをナビゲートします。左右方向ボタンを押してカラムを移動し、上下方向ボタンを使って入力したい英数文字を変えることができます。

● LAN

ネットワークにLANでDVRを接続する場合、ネットワークタイプからLANを選択して下さい。LANを使用するには下記のような情報が必ず必要です。この情報をお持ちでない場合はユーザーのネットワーク管理者に確認して下さい。

LANネットワーク設定

1. LANでスタティックIPを使用するとき:
ネットワークマネージャまたは管理者に固定IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクおよびDNSサーバー名を確認して下さい。
2. ルーターに設定されているスタティックIPを使用するとき:
ルーターに割当てられたIPアドレスを設定して下さい。
ルーターのゲートウェイとサブネットマスクを設定して下さい。
DNSサーバーのアドレスを設定して下さい。

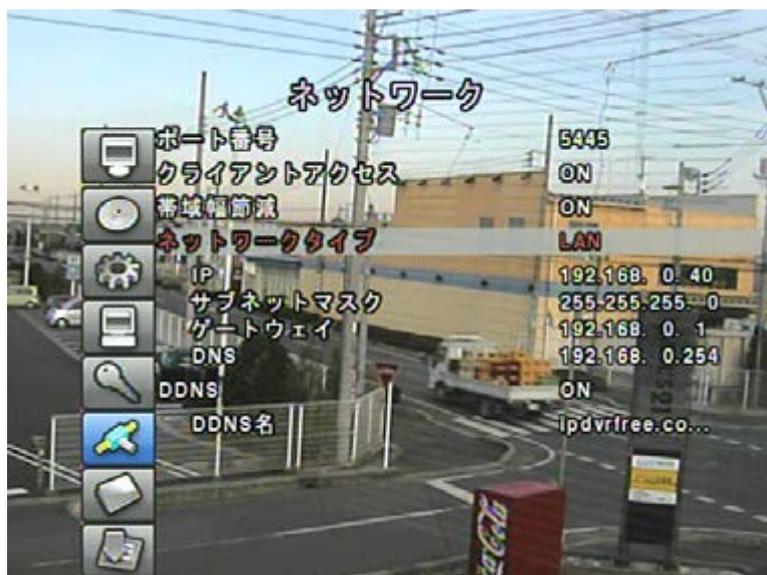


図3.7.2. ネットワーク設定画面 - LAN

- DHCP

DHCPでDVRを接続する場合は、ネットワークタイプからDHCPを選択して下さい。固有のIPアドレスはDHCPサーバーにより新しい機器へ自動的に割り当てられます。DVRのIPアドレスを見るためには、システムメニューから『記述』(DESCRIPTION)を選んで下さい。ネットワーク接続が追加のIPアドレスを許可しない場合、ルーターが必要になります。この場合、ネットワーク接続する際ルーターにポート・フォワーディングの設定が必要かもしれません。ポート・フォワーディングについてのより詳細な情報は、ユーザーのルーターあるいはネットワーク管理者に問い合わせるか取扱説明書を参照して下さい。



図3.7.3. ネットワーク設定画面 - DHCP

- ADSL

ネットワークにADSLでDVRを接続する場合、ネットワークタイプからADSLを選択して下さい。ADSLを使用するためには、次の情報が要求されます。この情報をお持ちでない場合はネットワーク管理者に確認して下さい。

ADSL

ID ADSLに接続するためのユーザーID

PASSWORD ADSLに接続するためのパスワード

PAP方式 (Password Authentication Protocol) によるダイヤルアップ接続をサポートします。PPPoEクライアントは実装していません。ADSL接続するにはお客様のADSLモデムやモデム内蔵ルーターなどにDVRへ接続するためのRJ45の端子が必要です。

他の装置との接続を共有する場合、ルーターなどが必要です。その場合のネットワークタイプはLANを選択して下さい。その際ポート・フォワーディングなどの設定が必要になる場合があります。ポート・フォワーディングの詳細については、ルーター等のマニュアルを参照するか、またはネットワーク管理者に尋ねて下さい。



図3.7.4. ネットワーク設定画面 - ADSL

3-7-3. DDNS

DDNSメニュー

DDNS ネットワークで固定IPアドレスの代わりにドメインネームに接続したい場合、DDNS ONを選択して下さい。

DDNS名 工場出荷時はipdvrfree.comです。

変更すると接続できなくなりますので『ipdvrfree.com』は絶対に変更しないで下さい。



ドメインネームは ipdvrfree.com にアクセスしてネット上で登録して下さい。
 詳しい登録手順はDDNSサーバー補足資料 [APPENDIX A-1 DDNS](#)
 (Dynamic Domain Name System)を参照して下さい。

3-8. 録画装置

ハードディスクの録画方法の選択とハードディスクの初期化フォーマットができます。

録画装置設定メニュー

上書き ハードディスク容量がいっぱいになると古いデータの上に上書きします。

ハードディスク容量がいっぱいになると音が鳴ります。

"ESC"ボタンを3秒間押し続けると、ビープ音を停止することができます。

フォーマット ONにするとハードディスクを初期化します。

記録されたデータはすべて消えますのでご注意ください。

HDD情報 SELボタンを押し、ハードディスクの情報を見ます(HDDの論理サイズ、

残論理サイズ、録画開始年月日時分秒、録画最終年月日時分秒)。

USBからの設定の書き込み ONを選びSELボタンを押すと

ユーザー定義値がUSBメモリースティックから読み込まれます。

USBへ設定の保存 ONを選びSELボタンを押すとDVRシステムの値が

USBメモリースティックに保存されます。

録画制限 限定された録画日数の機能を使用可能/不可能にします。

録画制限日数 限定された録画日数を設定します。



図3.8.1. 録画装置設定画面

3-9. 設定の保存

設定の変更を有効にするには、メニューの『設定の保存』から『はい』を選択して下さい。

4. ライブ & 検索

4-1. ライブ画面

DVRの状態を様々な表示やアイコンで表現しています。

表示やアイコンの意味については、表示アイコン表を参照して下さい。



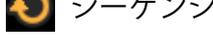
図4.1.ライブ画面

ライブ画面の表示アイコン表

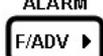
-  常時録画の時に表示されます。
-  マニュアル録画の時に表示されます。
-  センサー録画の時に表示されます。
-  モーション録画の時に表示されます。

R:01 リモコンID機能が有効な時に表示されます。

-  ライブ表示モードで消音になっていることを表示します。
但し、ネットワーククライアント接続での双方向オーディオを消音することは出来ません。
-  選んだチャンネルはライブ表示モードで音声が使えます。
-  すべてのチャンネルはライブ表示モードで音声が使えます。

-  アラーム出力機能が使用可能であることを示します。
-  ロック機能がリモコンによって働き、システムのすべての動作をロックすることを表示します。
-  アラーム出力がアクティブ状態になったことを表示します。
-  アラーム表示。ビデオチャンネルにアラーム（センサーアラームまたはモーションアラーム）が発生すると、このアイコンが明るい赤色で強調されます。
-  ネットワーククライアントがDVRに接続されたことを表示します。
-  シーケンシャル表示モードが使用可能であることを表示します。
-  **97%** 内蔵されているハードディスクの記録データのパーセンテージを表示しています。ハードディスクが記録データでいっぱいになると100%と表示されます。これは上書き設定がOFFの場合のみに表示されます。

ライブディスプレイモード用ボタン

ボタン	内容
ESC 	このボタンを押すと、メニュー画面の1つ前に戻ります。 キャンセルと同じ役割をします。
AUDIO 	ライブディスプレイモードでのサウンド機能 (ミュート、選択したチャンネルまたはすべてのチャンネルサウンド)
ALARM 	このボタンを押すと、アラーム出力機能を使用可能/使用不能にします。
REC 	このボタンを押すと、手動録画をスタートまたはストップすることができます。
	このボタンを押すと、全画面または4/9/16分割画面を選ぶことができます。
	これを押してチャンネル番号を選びます。10から16までのチャンネル番号を選ぶ際には、+10ボタンと数字を押して下さい。
BACKUP	このボタンを押してライブモードによる静止画像の保存を操作します。
SEQ	このボタンを押して、全画面または4分割画面のシーケンシャル表示をスタートさせます。
PTZ	このボタンを押してPTZ操作をコントロールします。

4-1-1. パン/チルト/ズーム/フォーカス操作

PTZF機能を操作するには、コントロール信号線を背面パネルのRS-485/422ポートに接続し、RS-485/422DIPスイッチを下側（ON）にして下さい。設定メニューのPTZ制御設定では、インストールされたものと同じカメラプロトコルタイプを選択または設定できます。カメラに指定されたカメラIDがあるときは、左右方向ボタンを使ってそのカメラIDを選びます。PTZ機能ボタンは前面パネルにあります。PTZボタンを押すと、図4.1.1に示す画面が現れます。選択する項目を強調表示し、下方向ボタンまたは左右方向ボタンを使ってカメラを制御して下さい。

PTZF操作のボタン機能

パン/チルト カメラを選び上下左右の方向ボタンで操作して下さい。

ズーム/フォーカス 選択したカメラをズームは上下方向ボタン、フォーカスは左右ボタンを使い操作して下さい。

カメラ初期化 選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
成功すると『初期化に成功しました』と画面に出ます。



図4.1.1. PTZF制御画面

4-2. 検索

SEARCH



ボタンを押すと、画面上にパスワードと表示されますので、入力して下さい。
ライブディスプレイモードから検索モードに入ります。



図4.2.1. 検索画面

4-2-1. 時間軸

時間軸検索は時間帯を表示し、録画映像を簡単に探すことができます。

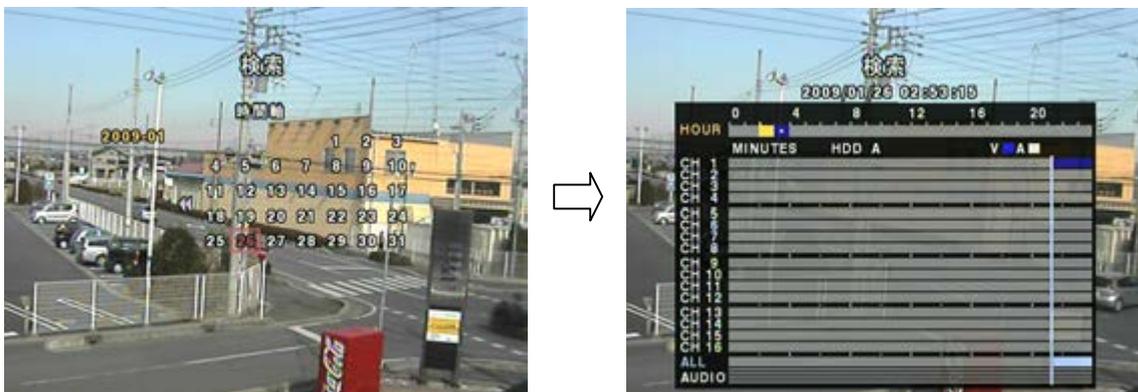


図4.2.2. 時間軸検索画面

1. 左右方向ボタンを使い、カレンダーの中から録画の日付を選んで下さい。
日付を選択したらSELボタンを押し、時間軸検索画面に進んで下さい。
2. 左右方向ボタンを使い、24時間時間帯表示の中で時間帯を選んで下さい。
時間帯を選択したら、SELボタンを押し、60分の時間帯表示に移動し、録画再生のために全部(ALL)または各チャンネル(CH X)を上下方向ボタンを使い選んで下さい。
3. 再生チャンネルを選んだら、左右方向ボタンを使い、時間帯選択バーを再生開始したい位置に動かします。(録画には青色のアンダーラインがついています)
4. SELボタンを押して録画を再生して下さい。

4-2-2. イベント検索

イベント検索は保存された記録データを検索するのに使用します。そして日付, チャンネル, イベントタイプの3つの検索を絞り込む選択項目が表示されます。

項目を下に下がる場合はSELボタンを押して下さい。

項目の上に上がる場合はESCボタンを押して下さい。



図4.2.3. イベント 検索画面

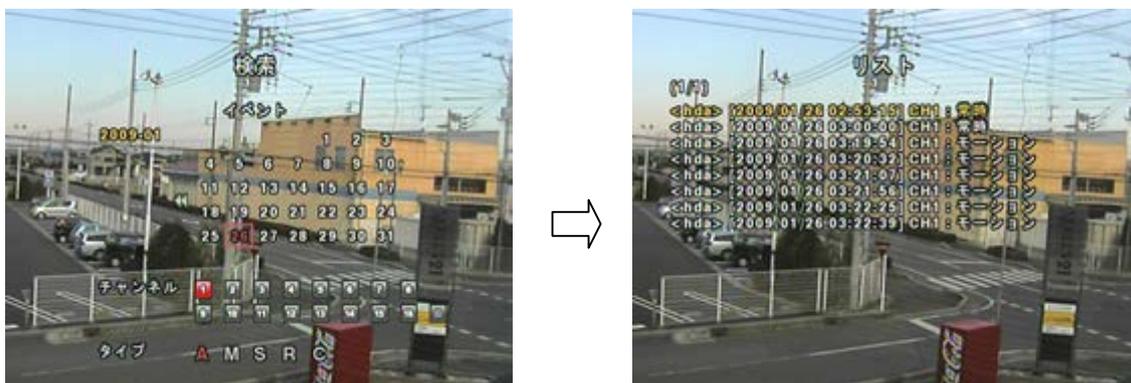


図4.2.4. イベント 検索

イベントを検索する：

1. 左右ボタンを使用して、ビデオの検索を始める日付けを選択し,SELボタンを押して下さい。
2. チャンネル表示が黄色くなりましたら、再生したいチャンネルを左右ボタンで選択し SELボタンを押して下さい。
3. 左右ボタンを使用して、4つの利用可能なチャンネルからチャンネル変更ができます。
田アイコンを選択すると、すべてのチャンネルがイベント検索されます。

4. チャンネルを選択した後、SELボタンを押してタイプ選択を移動させます。
5. 左右方向ボタンを使い、イベント録画タイプを選択します。
 - A: すべてのイベントの録画
 - M: モーションイベントの録画
 - S: センサーイベントの録画
 - R: 手動録画
 - C: 常時録画
6. 検索する録画のタイプを選んだら、SELボタンを押し、検索判定基準に合致する例のリストを生成させます。
7. 上下方向ボタンを使用し、画面上のリストをスクロールします。
8. 左右ボタンを使用し、現在の選択の前、または後に起こったイベントを表示します。
9. 希望するイベントを選んだら、SELボタンを押し、選んだ動画を再生します。

4-2-3. 日時指定検索

この画面では年月日および時間を指定することでその録画データにすぐアクセスできます。左右ボタンを使用し移動させ、上下ボタンで検索したい年月日と時間を変更して下さい。

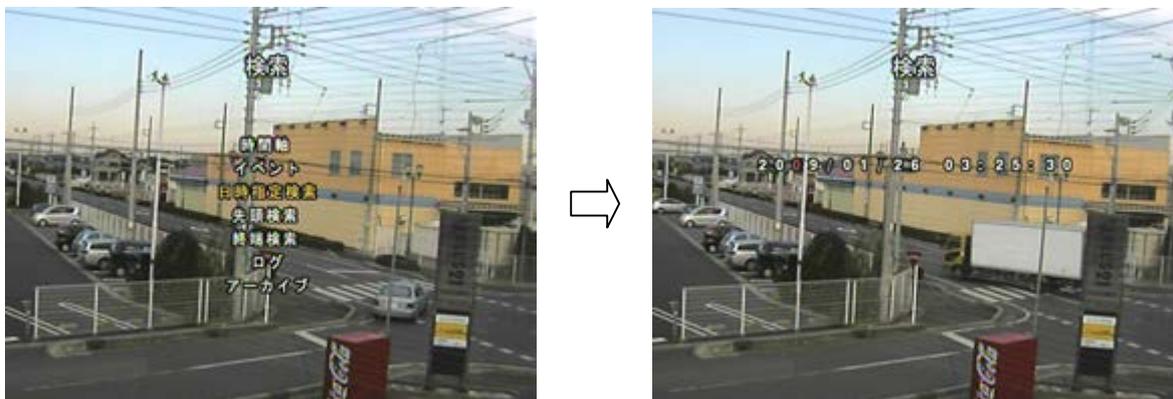


図4.2.5. 指定時間検索

4-2-4. 先頭検索

メニューから『先頭検索』を押すとハードディスクへ記録された一番古いデータにアクセスすることができます。最後にSELボタンを押し、動画を再生します。

4-2-5. 終端検索

メニューから『終端検索』を押すとハードディスクへ記録された最後のデータにアクセスすることができます。最後にSELボタンを押し、動画を再生します。

4-2-6. ログ

メニューから『LOG』を押すとシステムログデータを見ることができます。見たい日付を選択して下さい。

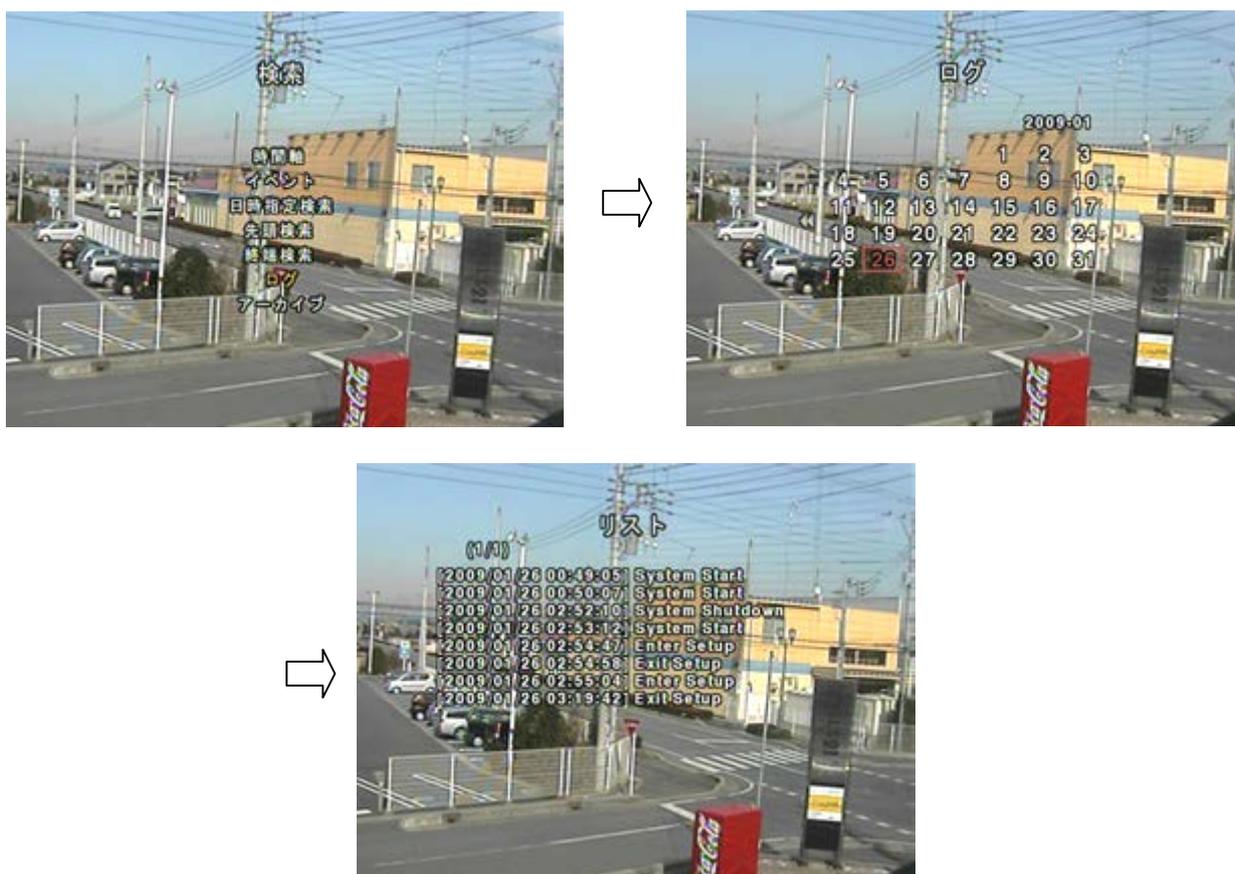


図4.2.6. ログ検索画面

1. 左右方向ボタンを使いカレンダーの中から検索を始めるログの日付を選んで下さい。
2. 日付を選んだら、SELボタンを押し、検索判定基準に合致するリストを生成します。
3. 左右方向ボタンを使用し、現在の選択の前または後に起こったイベントを表示します。

4-2-7. アーカイブ

アーカイブバックアップデバイスへの保存のために予約したファイルリストを検索する時に使用します。

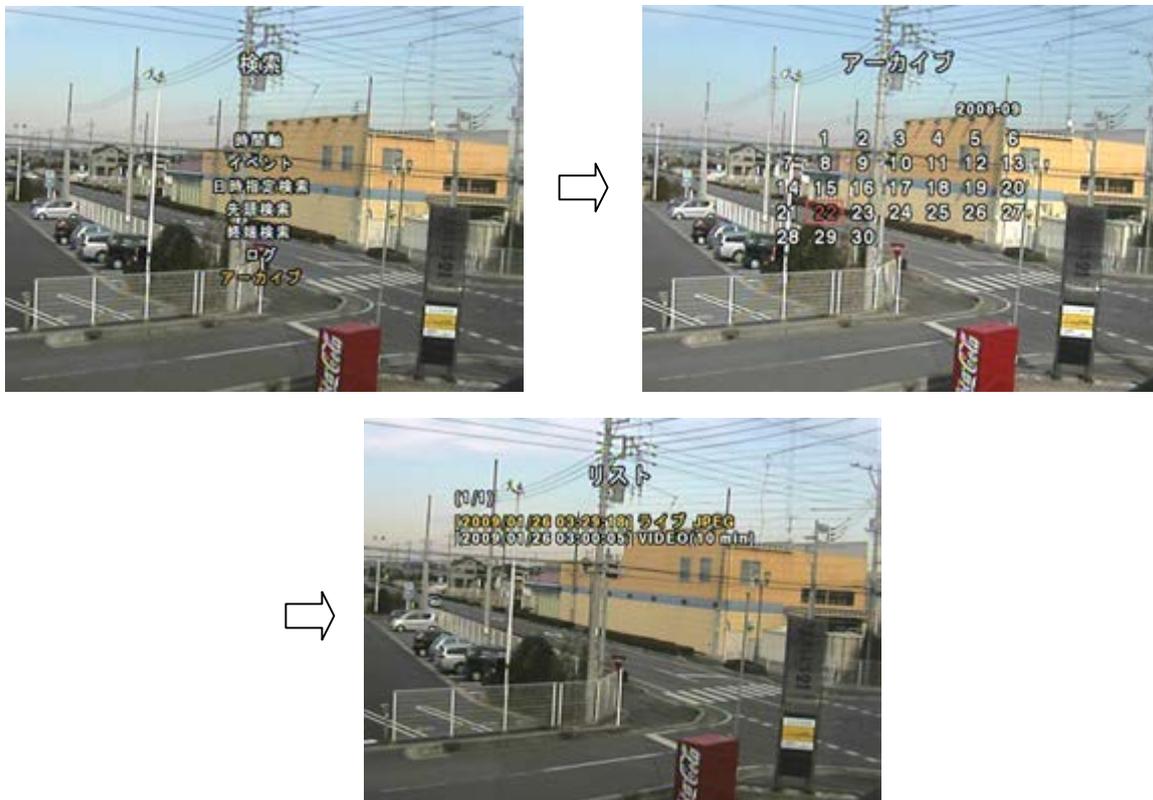


図4.2.7. アーカイブリスト検索画面

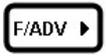
1. 左右の方向ボタンを使用してカレンダーから検索を開始する日付を選択してSELボタンを押して下さい。
2. 日付を選択したらSELボタンを押して録画データリストに進んで下さい。
3. 上下の方向ボタンを使い、画面上のリストをスクロールして下さい。
4. 希望のイベントを選んだ後、SELボタンを押せば静止画像又は動画はポーズモードで見ることができます。（再生は出来ません）
5. バックアップボタンを押して、静止画像又は動画をUSBメモリースティックまたはCD-RWに保存して下さい。

4-3. 録画再生モード



図4.3.1. 録画再生モード画面

録画再生モードのボタン

ボタン	内 容
	このボタンを押すと、データを1倍、2倍、4倍、および8倍の速度で逆再生します。
	このボタンを押すと、データを1倍、2倍、4倍、および8倍の速度で早送りします。
SEARCH 	このボタンを押すと録画した動画を再生または一時停止します。
AUDIO 	Jump/Step逆方向 – 再生位置が1分前に戻ります。
ALARM 	Jump/Step順方向 – 再生位置が1分先に進みます。
ESC 	1つ前のメニュー画面、検索リスト、または終了、メニューに戻ります。
BACKUP 	このボタンを押すと、静止画又は動画保存画面に進みます。 詳細は次項をご参照して下さい。

5. 映像のCD-RWまたはUSB記録装置への保存方法

ユーザーは静止画または動画をCD-RWまたはUSB記録装置に保存することができます。

5-1. 静止画と動画の保存

静止画は、ライブモードの際、または録画した動画の再生中にキャプチャーし保存することができます。

5-1-1. ライブモードでの静止画像の保存

ライブモードでBACKUPボタンを押し、静止画像をキャプチャーして、保存することができます。BACKUPボタンを押すと、『キャプチャーOK』の次に、図5.1.1に示すような選択画面が表示されます。バックアップをする場合『はい』を選択し、次に上下方向ボタンを使い、USB stickまたはCD-RWを選びます。USBメモリーにバックアップする場合はUSBメモリースティックをDVRに挿入します。次に、SELボタンを押し、データを記録装置に転送します(データを転送しないときはESCボタンを押します)。『保存中』⇒『保存完了』のメッセージが出たら、USBメモリースティックを抜いて完了です。



図5.1.1. ライブ画面モードでの静止画像の保存

5-1-2. 録画再生モードでの静止画像の保存

BACKUPボタンを押し、動画の録画再生中に静止画をキャプチャーし保存します。BACKUPボタンを押すと、図5.1.2（次ページ）に示すような画面が表示されます。左右方向ボタンを使って『静止』を選び、SELボタンを押します。次に上下方向ボタンを使い、USB stickまたはCD-RWを選びます。USBメモリーにバックアップする場合はUSBメモリースティックをDVRに挿入します。次に、SELボタンを押し、データを記録装置に転送します(データを転送しないときはESCボタンを押します)。『保存中』⇒『保存完了』のメッセージが出たら、USBメモリースティックを抜いて完了です。



図5.1.2. 録画再生モードでの静止画像の保存

5-1-3. 動画の保存

録画再生中にBACKUPボタンを押し、動画をキャプチャーし保存します。バックアップは選択されているチャンネル（CH名が黄色で表示）が保存されますので、保存前に希望のチャンネルを選択してください。BACKUPボタンを押すと、図5.1.3に示すような画面が表示されます。左右方向ボタンを使って『ビデオ』を選び、SELボタンを押します。

次に下図のようにバックアップする時間の設定画面が表示されます。バックアップする時間を左右方向ボタンと上下方向ボタンを使って分単位（最長60分）で指定し、SELボタンを押します。

次に下図のような画面が表示されたら、上下方向ボタンを使い、USB stickまたはCD-RWを選びます。USBメモリーにバックアップする場合はUSBメモリースティックをDVRに挿入します。

次にSELボタンを押し、データを記録装置に転送します（データを転送しないときはESCボタンを押します）。

『USBチェック』⇒『保存中』⇒『保存完了』のメッセージが出たら、USBメモリーを抜いて完了です。

『USBチェック』⇒『チェック失敗』のメッセージが出たら注意事項を参考にしながら新しいUSBメモリーに替えてやり直してください。録画再生画面に戻る場合はESCボタンを押して戻してください。



図5.1.3.動画の保存





5-2. 静止画または動画をCD-RWまたはUSBフラッシュメモリーに転送する際の注意事項



- ① DVRシステムはUSB 2.0のみ対応します。USB 2.0のフラッシュメモリーのみを接続して下さい。USB 1.1を接続した場合、認識されません。
- ② CDにバックアップファイルを作るときは、本体に内蔵のCD-RW装置を使って下さい。
- ③ バックアップメディアに十分なスペース又は空き容量が無い場合、DVRがバックアップメディアに余裕が無い旨のエラーメッセージを出します。
- ④ USBメモリーは『保存完了』のメッセージが出た後で必ず抜いてください。途中でUSBメモリーを抜いた場合『保存失敗 NO DEVICE』と表示されます。再度バックアップをやり直して下さい。
- ⑤ バックアップ中はシンプレックス動作となり、録画する事が出来ませんのでご注意下さい。

5-3. PCによるバックアップメディアの再生方法 (USBフラッシュメモリー)

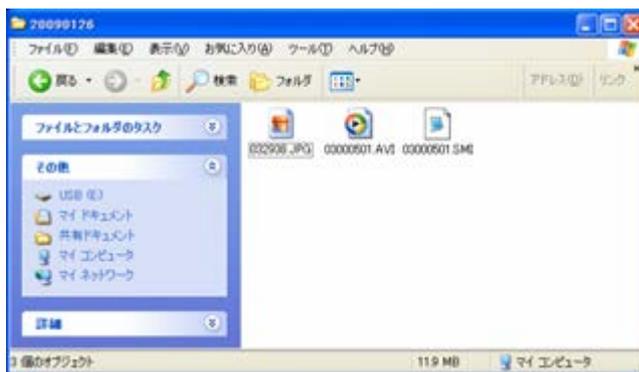
1.バックアップした動画の再生

- ① バックアップしたUSBフラッシュメモリーをパソコンに差し込み、マイコンピュータからUSBフラッシュメモリーが差し込まれているリムーバブルディスクを選択しダブルクリックして開きます。
- ② 年月日を数字で表したフォルダ(バックアップした動画が保存されている)があることを確認し、ダブルクリックして開きます。
- ③ 下図のような画面が表示されたら、画像又はWindows Media Playerアイコンをダブルクリックします。バックアップした動画がWindows Media Playerで再生されます。

パソコンによって表示されるアイコンのイメージは変わります。

【メニュー⇒表示⇒縮小版のイメージ】

【メニュー⇒表示⇒並べて表示のイメージ】



前ページのアイコンをクリックしても動画がWindows Media Playerで再生されない場合は、アイコン上で右クリック⇒プログラムから開く⇒Windows Media Playerをクリックして下さい。

動画をWindows Media Playerで再生している時、時刻(年/月/日/時/分/秒)が表示されない場合は、CODEC(ffdshow)をインストールする際、字幕にチェックを入れてインストールして下さい。(詳しくは、別途マニュアル「CODEC(ffdshow)インストール方法」を参照して下さい。)



2.バックアップした静止画の再生

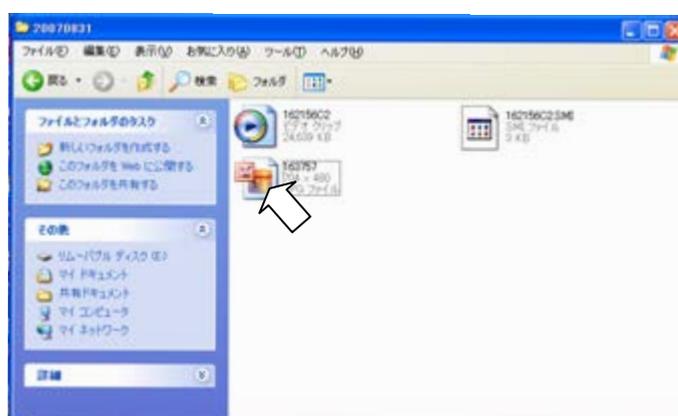
- ①バックアップしたUSBフラッシュメモリーをパソコンに差し込み、マイコンピュータからUSBフラッシュメモリーが差し込まれているリムーバブルディスクを選択しダブルクリックして開きます。
- ②年月日を数字で表したフォルダ(バックアップした静止画が保存されている)があることを確認し、ダブルクリックして開きます。
- ③下図のような画面が表示されたら、画像又はJPEGアイコンをダブルクリックします。バックアップした静止画がJPEGイメージで再生されます。

パソコンによって表示されるアイコンのイメージは変わります。

【メニュー⇒表示⇒縮小版のイメージ】



【メニュー⇒表示⇒並べて表示のイメージ】



6. ネットワーク クライアント ソフトウェア

DVRはライブ遠隔監視機能を備えています。遠隔監視にはPCのソフトウェアクライアントプログラムをインストールする必要があります。背面パネルでのRJ45コネクタを利用するLAN接続が、遠隔接続には必須です。

ローカル操作には、DVRで録画しないときにはフレームレートは1に限られます。録画進行中はライブ監視のビデオフレームレートは録画フレームレートに従います。

6-1. 概要

遠隔ソフトウェアは録画、遠隔ライブ閲覧、検索、再生およびシステム構成をサポートします。Windows PCにネットワーク・クライアント・ソフトウェアをインストールすることにより、オプションのイーサネット・ネットワークを経由してリアルタイム画像と録画画像を監視することができます。これにはビデオを監視し、録画を再生し、操作パラメータを変える能力が含まれます。



DVRには最大4ユーザーによるネットワークからのアクセスが可能です。高帯域幅での1台のDVRへのアクセスは最大4ユーザーまでです。低帯域幅での1台のDVRへのアクセスは1ユーザーまでを強くお勧めいたします。



クライアント側のPCにマイクが接続されている場合、クライアント側のマイク音声はDVRの音声出力から出力されます。

6-2. PC最低動作環境および推奨動作環境

	最低動作環境	推奨動作環境
CPU	Intel Pentium III	Intel Pentium IV
	500Mhz	2Ghz
メモリー	128MB	256MB
VGA	Super VGA - 16MB	Super VGA - 64MB
解像度	1024x768	1024x768
ディスクスペース	10MB	10MB
OS	Windows 2000	Windows 2000 Professional, XP, Vista x86(32bit版)
ネットワーク	10/100Base T	10/100Base T
その他	Direct X 8.1	Direct X 8.1 以上

クライアントソフトウェアをインストールする前に、PCの仕様をチェックして下さい。PCが最低の必要条件を満たさない場合、ネットワーククライアント・ソフトウェアが正確に実行されない可能性があります。

6-3. ソフトウェアインストール方法

1. パソコンのCD-ROMドライブへ付属のCD-ROMを挿入して下さい。
2. client.exeを実行し、インストールを開始して下さい。
3. Network Clientアイコンをダブルクリックし、クライアントソフトウェアをスタートさせて下さい。

6-4. ライブ画面

インストールが完了したらデスクトップの  CLIENTアイコンをダブルクリックし、ソフトウェアをスタートさせて下さい。

6-4-1. メイン画面



6-4-2. メインコントロールパネル



現在の日付時刻を表示します。

DVRと接続する時のボタンです。



IP Address: IP AddressかDVRのドメインネームを入力
 Port No.: DVRのポート番号を入力 (通常5445)
 Protocol: TCPかUDPの選択

このアイコンをクリックし録画された映像を検索します。
 ネットワークに接続されているときには、ユーザーは録画データを再生できます。

このアイコンをクリックしてクライアントソフトウェアのすべての操作をロックします。

遠隔カメラのPAN/TILT&ZOOM FOCUSの制御



アイコンをクリックしてチャンネルの拡大と回転を行います。

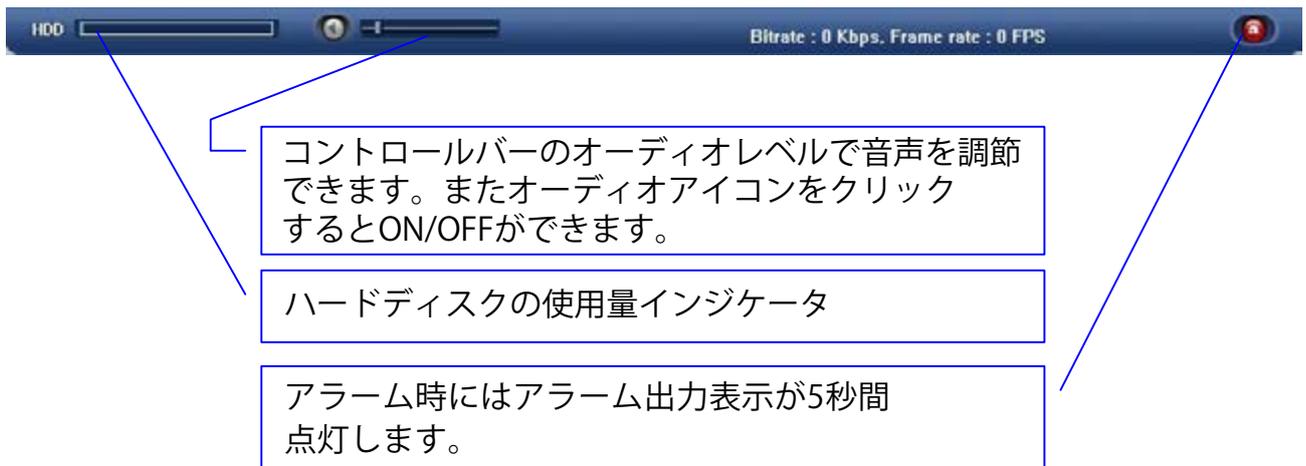
このアイコンをクリックして静止画をキャプチャーします。

このアイコンをクリックしてライブビデオを再生/一時停止させます。

設定メニューで設定されたローカルディスクへのライブビデオの録画を可能または不可能にします。

このアイコンをクリックしてクライアントソフトウェアの構成を設定します。

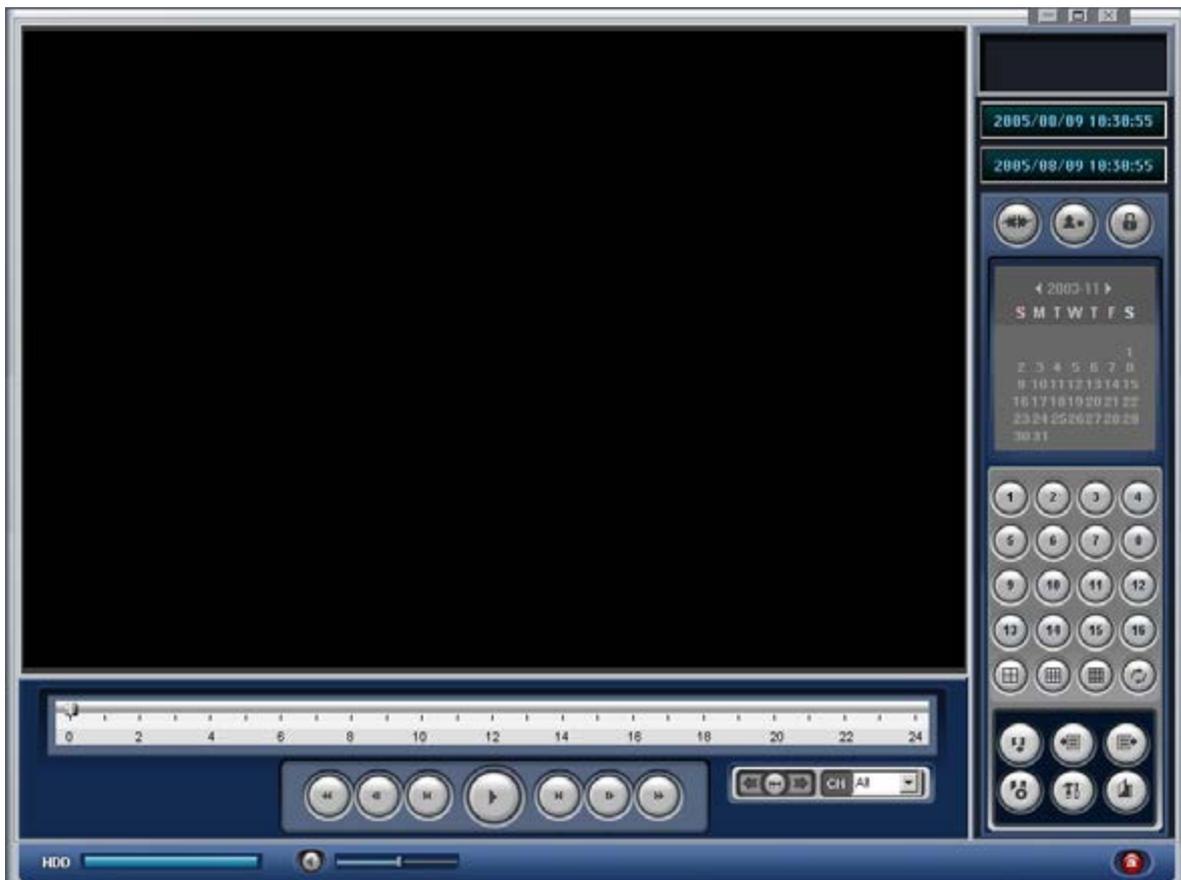
このアイコンをクリックしてクライアントソフトウェア操作を終了します。



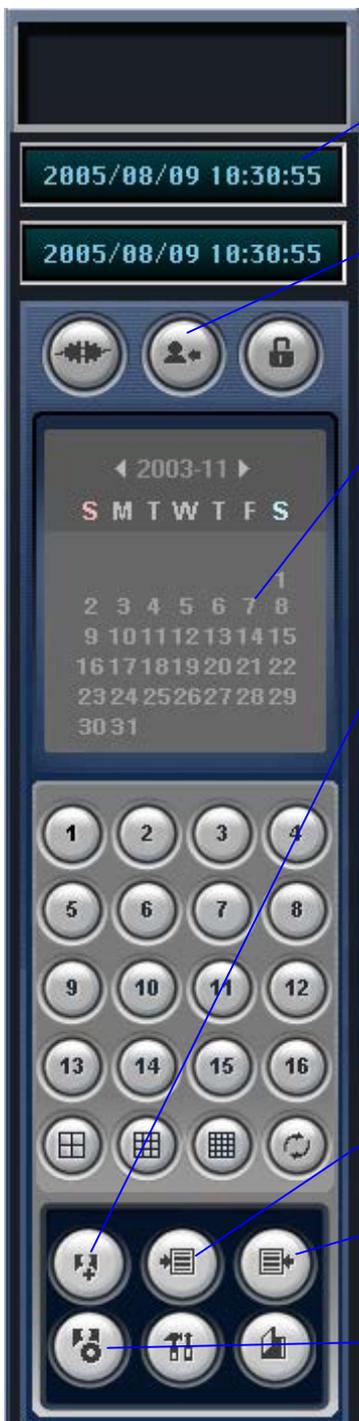
6-5. 検索 & 録画再生画面

6-5-1. メイン画面

メイン画面の右上部にある検索ボタンをクリックするとこの検索画面が表示され、検索することができます。



6-5-2. 検索メインコントロールパネル



メイン画面の下、中央部のスケールを調整して、選んだデータの録画時間を表示します。

このアイコンをクリックしてライブ映像を見て下さい。

カレンダーは録画映像のある日付を青色で表示し、選択した日付を赤色で表示します。

このアイコンをクリックして静止画をキャプチャーします。



Save Path: 保存する画像の保存先ファイルを選択、または新ファイルを作成します。

ファイル: キャプチャーした画像のファイル名を入力します。

File Format: BMPかJPGかを選択します。

このアイコンをクリックし、AVIフォーマットで録画した映像のバックアップ開始時間を設定します。

このアイコンをクリックし、AVIフォーマットで録画した映像のバックアップ終了時間を設定します。

このアイコンをクリックし、AVIフォーマットで録画した映像のバックアップをします。



録画データの再生/一時停止

1フレーム前に逆送り

2倍または4倍でビデオを逆再生

録画データはこのバーに緑のラインで表示されます。
時間軸の表示を切り替えて時間を選択し、PLAYボタンを
押して再生して下さい。

クリックすると録画データの時間軸を時間単位で示します。

クリックすると選択したチャンネルの時間軸を示します。

6-5-3. バックアップ (Back up)

検索画面からAVI形式の録画映像をバックアップすることができます。

1. まずスケールを使って開始時間を設定する必要があります。

バックアップを開始したい時間を決めたら、マークインアイコン  をクリックし
開始地点をマークします。

2. 終了時間を決めたら緑色のバーの位置をクリックしてマークアウトボタン  を
押して下さい。 .開始から終了地点をマークすると濃い緑色に変わります。

3. そしてバックアップアイコン  をクリックして下さい。そうすると次のウィンドウが
現れます。



この画面でバックアップ開始・終了期間を設定できます。

6-6. システム構成 (System configuration)

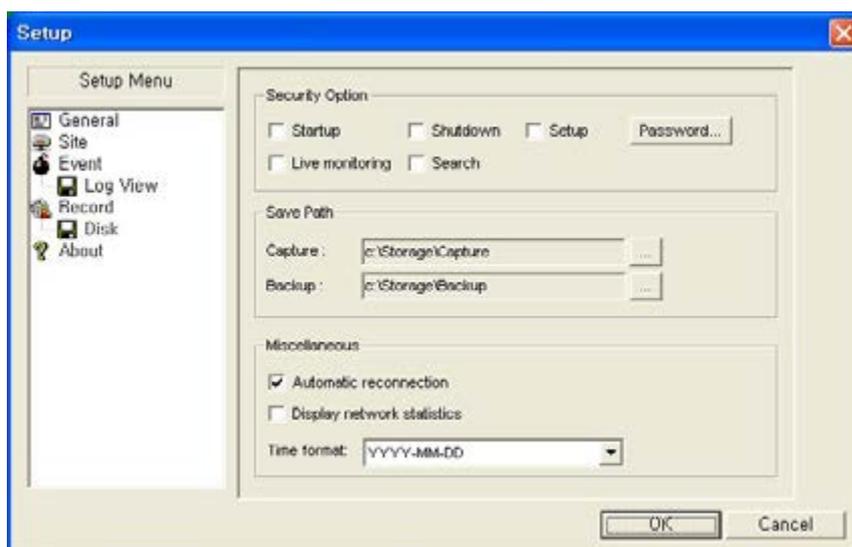


セットアップボタン  をクリックするとネットワーククライアントソフトの操作設定を行えます。

6-6-1. General(基本設定)

セットアップボタンをクリックすると、下のような画面が現れます。セキュリティオプションの機能選択やセキュリティオプションの設定、パスワード設定などが行えます。そうすると選択した機能にアクセスする時にはパスワードを入力する必要があります。

キャプチャリング、バックアップのパス (保存先) も設定できます。



- Security Option: セキュリティオプション用のパスワードを設定して下さい。



初期パスワード変更:1度目の変更時は'Old Password'には何も入力しないで下さい。'New Password'と'Confirm Password'には同じパスワードを入力して下さい。よろしければOKボタンを押して下さい。

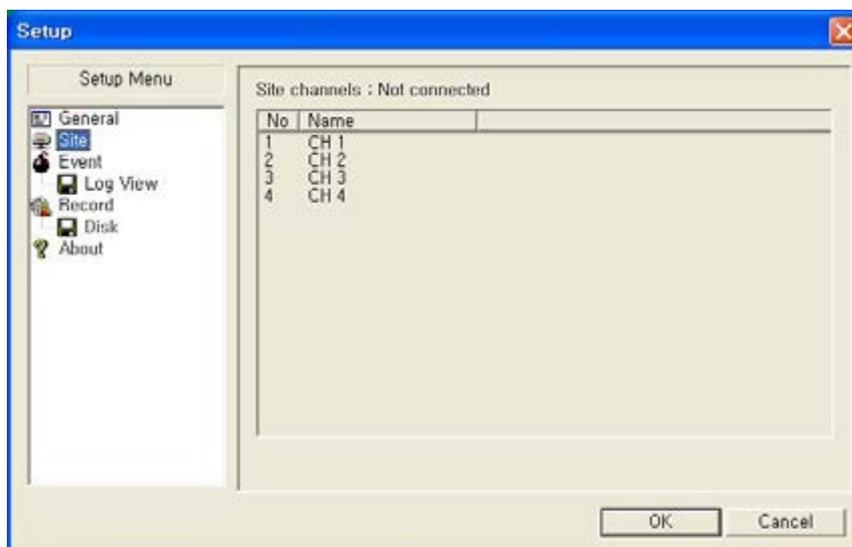
2回目からの変更:2回目からの変更の際はOld Passwordも変更して下さい。

- Save Path: バックアップ用映像とキャプチャー用静止画の録画場所を指定できます。
- 自動再接続機能: 接続が切断された場合、クライアントソフトが最後に接続されていたIP addressに自動的に再接続します。
- ネットワーク表示機能 (Display network statistics) : クライアントソフトの下側にネットワークステータスとビットレート・フレームレートを常に表示します。
- Time Format: クライアントソフト上の時刻表示方法を変更できます。



6-6-2. Site (サイト)

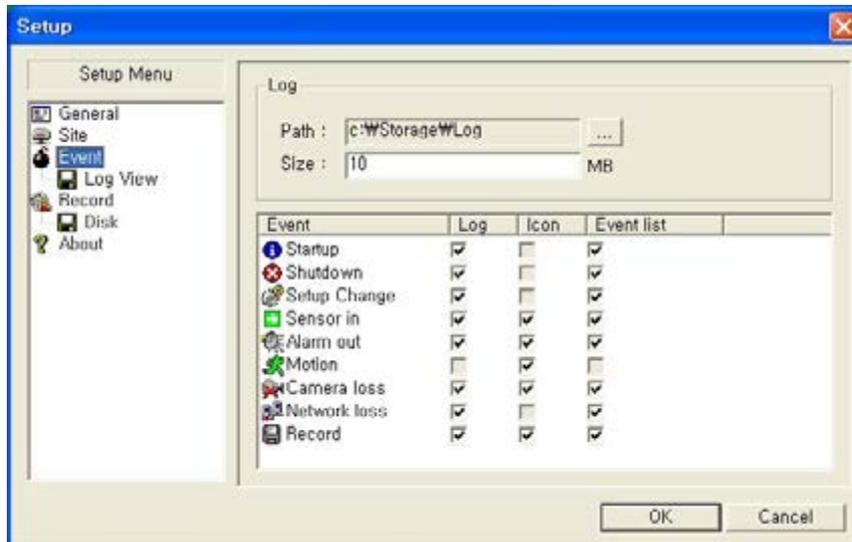
この画面では表示されているカメラ名を変更できます。カメラ名 (CH_) をクリックしてカメラ名を変更して下さい。



カメラ名の変更に使用できるのは英数字のみです。
(例 : [A~Z], [a~z] または [0~9])

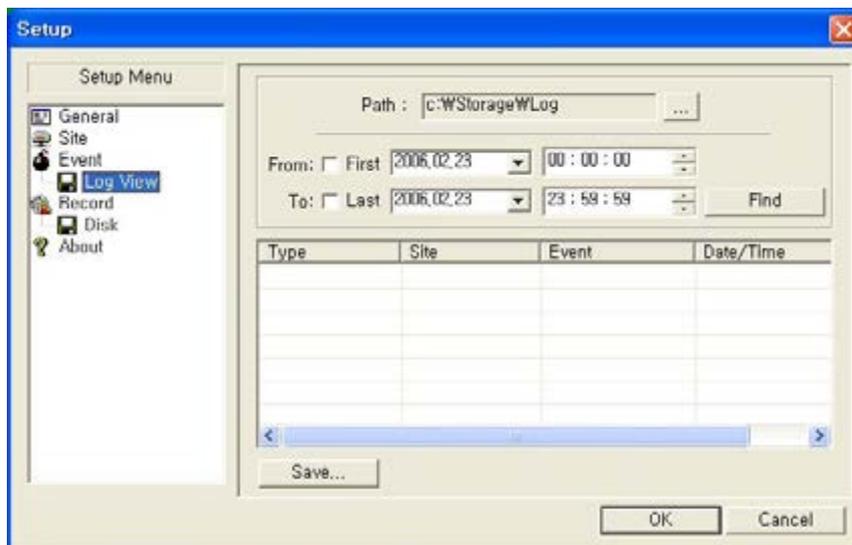
6-6-3. Event (イベント)

希望の保存場所に指定した保存容量の範囲内でイベントログを保存します。
保存したいイベントアイテムを指定して下さい。



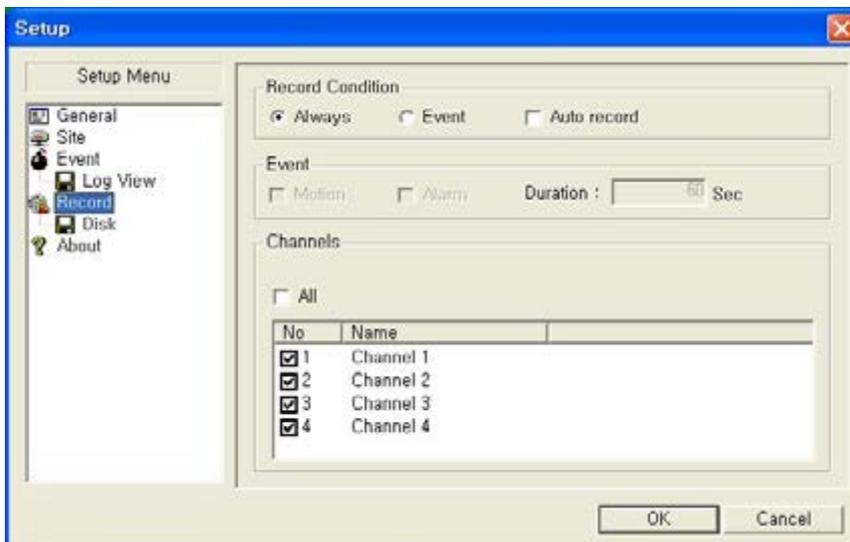
- LOG : ログファイルに保存されるイベントログの選択。
- ICON : ライブ画面でイベントリストに表示されるイベントアイコンの選択。
- EVENT : LIST - ライブ画面のイベントリストに表示されるイベントの選択。

ログデータの検索と確認ができます。



6-6-4. Record (録画)

録画設定はAlways, Event, または Auto recordingの3タイプあります。
記録するチャンネルは個々のチャンネルか全チャンネルか選択できます。

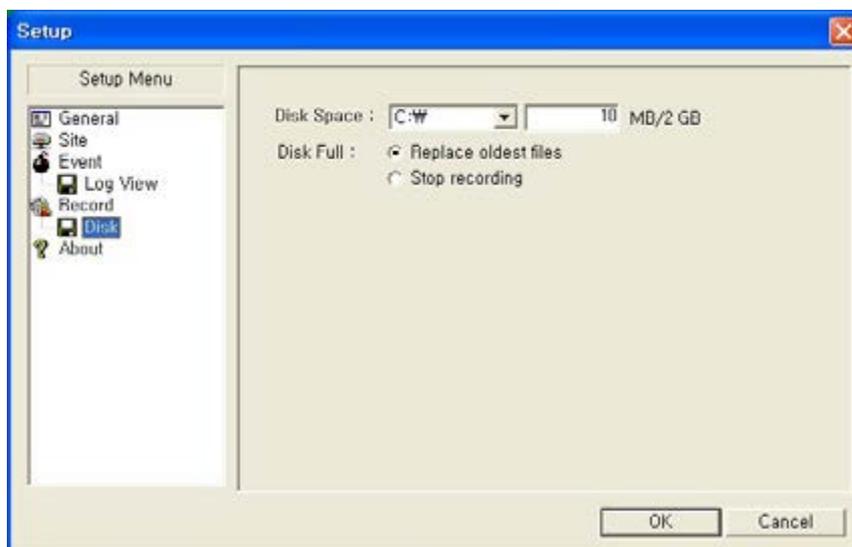


録画設定をEventにした時は、Motion、Alarmまたは両方の選択と録画時間を設定
できます。記録するチャンネルは個々のチャンネルか全チャンネルか選択できます。



6-6-5. Disk (ディスク)

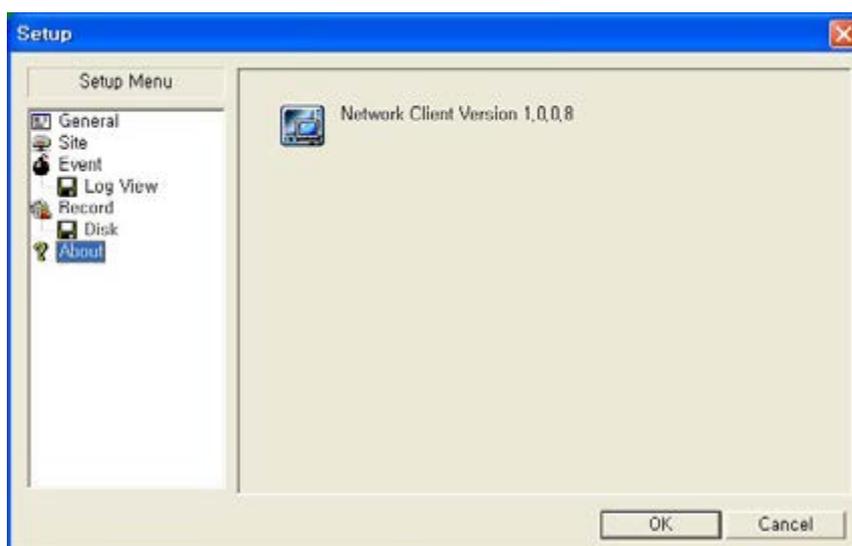
クライアントソフトがあなたのパソコンにデータを保存する場所と容量を指定できます。ディスクスペースがいっぱいになった時の処理方法を上書きするか、録画停止するか選択できます。



『C:¥ storage』フォルダが作成され、録画データはここに保存されます。

6-6-6. About (アバウト)

“About” ではネットワーククライアントソフトのバージョン情報を見ることができます。



7. ファームウェアアップグレード

このDVRはファームウェアアップグレードによりアップグレードできるように設計されています。ファームウェアアップグレードはエンジニアリングモードから開始できます。以下の方法でエンジニアリングモードを開始して下さい。アップグレードするには、アップグレードファームウェアファイルをUSBメモリースティックにコピーしなければなりません。USBメモリーの中に'UPGRADE'という新しいフォルダを作りその中に“app.bin”という新しいファームウェアファイルをコピーして下さい。



フォルダ名は必ず“upgrade”にして下さい。アップグレードはUSBメモリーからしか行えません。

以下の方法でファームウェアをアップグレードすることができます：

1. “SETUP”ボタンを押し、管理者パスワードを入力して下さい。
2. SECURITYに行き、ADMIN PASSWORDを選択して下さい。
3. パスワードを“12341234”と入力し、“SEL”ボタンを押して下さい。
4. “DVR DIAGNOSTICS” と表示されエンジニアリングモードになります。
5. USB UPGRADEを選択しSELボタンを押すと自動的にアップグレードが始まります。
6. アップグレードが完了するとDVRは自動的に再起動します。再起動後は“DVR DIAGNOSTICS”の画面に戻ります。最後に“BOOT APPLICATION”を選択して再起動すれば完了です。



図7.1. エンジニアリングモード画面



“MAC Configuration”、“RTC Configuration”と“License Key”は操作しないで下さい。これらはメーカーで操作する以外は操作・変更してはいけません。お客様が操作変更しますと機器の正常動作が不能となりシステムが起動できなくなる恐れがあります。この操作を行って起きた異常や故障・使用不能状態になることは保証の対象外となります。

補足資料

A-1. DDNS (Dynamic Domain Name System)

はじめにお客様のインターネット環境およびプロバイダとの契約内容をご確認下さい。
お客様がISP (Internet Service Provider) からの動的アドレスを使用しているのであれば、これから紹介するDDNSサービスに登録してご利用されることをお勧めいたします。
その場合、ウェブサイトからお客様のDVRをDDNSウェブサイトに登録するようお勧めします。
ISP(Internet Service Provider)から静的（固定）アドレスを付与または取得サービスを受けて使用されているのであれば登録する必要はありません。詳しく分からなければISP(Internet Service Provider)へご確認下さい。
DDNSサービスを受けるためには、IDとパスワードを必要とします。

A-1-1. 無料のDDNSサービスでIDとPasswordを作成して下さい。

1. DDNSのウェブサイトへアクセスして下さい。 : <http://www.ipdvrfree.com>



2. ウェブページの右下にある“Member Join”ボタンをクリックして下さい。

3. IDの入力(4~12の英数字)をして入力したIDが使用可能か確認するために“[check]”ボタンを押して下さい。Passwordの入力(4~12の英数字)をして次に右横にあるConfirmにPasswordと同じ英数字(4~12の英数字)を入力して下さい。NameとE-Mail addressを入力して下さい。

4. “OK”ボタンを1度押せば完了です。



DDNSサービスの管理者からお客様が入力したメールアドレスに確認メールが送られてくる場合がありますので、確実にメールアドレスを入力して下さい。

A-1-2. ドメインネームの登録



1. メンバー登録が完了したらIDとPasswordを入力して“OK”ボタンを押して下さい。
画面中央の下に下記のようなメッセージが現れます:
“Welcome to DVR management server: guest”
* guestの部分にはお客様が登録したIDで表示されます。



2. ログイン後“Registration”ボタンを押してサーバー登録をして下さい。



3. サーバー登録ページでは、“Serial Number”と“Registration No.”を入力します。
この2つは梱包されていた箱の側面とDVR本体の背面に記入されています。
4. ご希望の“Domain name”を入力して下さい。“Domain name”はIDとpasswordと同じとは限りませんので必ずIDとpasswordは忘れないようにご注意ください。
入力には[A~Z], [a~z], [0~9], [-]（ハイフン）が使用できます。入力したドメインネームが利用できるか右横にある “[check]” ボタンを押して確認して下さい。使用可能であれば入力終了です。最後に“OK”ボタンを押して登録を完了させて下さい。

5. ドメイン名の登録が完了した後ページの上にある“List”ボタンを押して下さい。
ドメイン名の登録が成功していると、登録したドメイン名が表示されます。

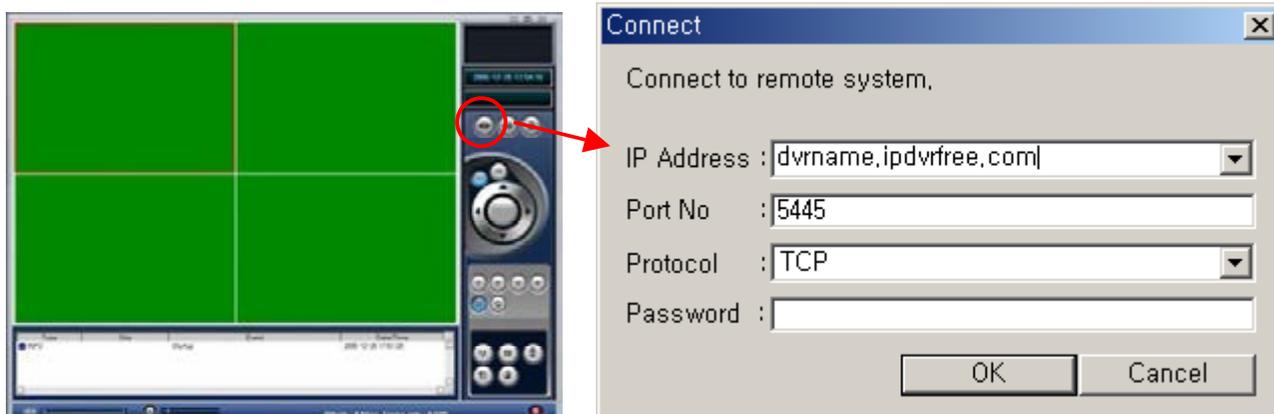


A-1-3. 登録したドメイン名を利用したDVRへのアクセス方法

ドメイン名の登録が完了しましたら、クライアントソフトからDVRへアクセスが可能になります。

ネットワーククライアントソフトを使用したアクセス

ネットワーククライアントソフトを起動して画面上“connect”(接続)ボタンを押して下さい。サーバー接続ウィンドウが現れます。



Server Connectウィンドウの“IP Address”フィールドにドメイン名を入力して下さい。
(詳細につきましては、ネットワーククライアントソフト取扱説明書を参照下さい。)

A-1-4. ドメインネームマネジメント

このDDNSサービスでは複数のドメインネームが登録できます。いつでも修正や削除もできます。Host Name LISTからURLをクリックすると、ウェブブラウザを使って特定のDVRにアクセスすることができます。

“Status”には最終アップデートからの経過時間が表示されます。

Status	Specification
	最終更新時間が5分未満です。 (通常、正しくDDNS更新が行えている場合はこちらの状態になります。)
	最終更新時間が5分から20分未満です。
	最終更新時間が20分以上経過しています。
	アップデートされていません。



ドメインネームの修正と削除:

“[Info change]”を押すと選択されたドメインネームの変更ができます。

“[Delete]”を押すと選択されたドメインネームが削除されます。

A-2. ハードディスクの適合性

メーカー	容量	回転数	バッファ	インターフェース
HITACHI	80GB	7200RPM	2M	E-IDE
	160GB	7200RPM	8M	E-IDE
	250GB	7200RPM	8M	E-IDE
	500GB	7200RPM	8M	E-IDE
MAXTER	80GB	7200RPM	2M	E-IDE
	200GB	7200RPM	2M	E-IDE
	250GB	7200RPM	8M	E-IDE
	300GB	7200RPM	16M	E-IDE
SAMSUNG	80GB	7200RPM	2M	E-IDE
	160GB	7200RPM	2M	E-IDE
WESTERN DIGITAL	160GB	7200RPM	2M	E-IDE
	200GB	7200RPM	8M	E-IDE
	250GB	7200RPM	8M	E-IDE
	320GB	7200RPM	8M	E-IDE
SEAGATE	40GB	7200RPM	2M	E-IDE
	80GB	7200RPM	2M	E-IDE
	120GB	7200RPM	2M	E-IDE
	160GB	7200RPM	2M	E-IDE
	300GB	7200RPM	8M	E-IDE
	400GB	7200RPM	8M	E-IDE

メーカー	容量	型番	回転数	キャッシュ	インターフェース
HITACHI	500GB	HDP725050GLA360	7200RPM	16M	S-ATA2
	750GB	HDS721075KLA330	7200RPM	32M	S-ATA2
WESTERN DIGITAL	250GB	WD2500AAKS	7200RPM	16M	S-ATA2
	500GB	WD5000AACS	7200RPM	16M	S-ATA2
	750GB	WD7500AACS	7200RPM	16M	S-ATA2
SEAGATE	250GB	ST3250410AS(Barracuda)	7200RPM	16M	S-ATA2
	500GB	ST3500830SCE	7200RPM	8M	S-ATA2
	1TB	ST31000340SV(Surveillance)	7200RPM	32M	S-ATA2

A-3. 仕様

型番		SDN2712CD	SDS4812CD
ビデオ	入力 (BNC) NTSC/PAL – 1.0Vp-p	9	16
	出力(選択可能)	1 composite BNC / 1 S-video (NTSC/PAL)	
		1 VGA	
	SPOT 出力	1 composite BNC (NTSC/PAL) – 1.0Vp-p	
	ループバック出力	9	16
オーディオ	入力&出力	4 Line In (RCA) 1 Line Out (RCA)	
アラーム	入力&出力 (NC/NO 選択可能)	9 / 4	16 / 4
OS		RTOS	
録画	圧縮	MPEG-4	
	ビデオフォーマット	NTSC / PAL	
	解像度	350x240(360x288)	
		704x240(720x288)	
		704x480(720x576)	
	録画速度	MAX. 120fps(352x240) : NTSC MAX. 60fps(704x240) : NTSC MAX. 30fps(704x480) : NTSC	
モード	常時、モーション、センサー、スケジュール、録画しない		
方式	解像度、フレームレート、および画質による方式		
録画再生	モード	時間軸、イベント、日時指定検索、先頭検索、終端検索	
	速度	2倍 4倍 8倍	
マルチタスク	三重方式	録画、再生、および転送	
制御ユニット		IRタイプリモートコントロールおよび前面キー	
シリアルポート	コンソール	1 RS-232C	

	カメラコントロール	1 RS-485	
ネットワーク	インターフェース	ADSL, LAN	
	動的IP	DDNS(専用ipdvrfree.comサービスのみサポート)	
	LANポート	1 10/100-base T Ethernet	
	機能	ライブ、検索、P/T/Z/F、バックアップ	
ハードディスク	容量	2ドライブ 最大 1000GB EIDE(ATA133)	2ドライブ 最高 1000GB EIDE(ATA133)
		ネットワーク	静止画&動画
バックアップ	USBスティック/CDRW	静止画&動画	
電子回路	電源入力	100~127V/200~240V, 50-60Hz	
使用環境	動作温度	5°C ~ 40°C	
仕様	湿度	30% ~ 90%	
サイズ	寸法	432(W) X 350(D) X 88(H)mm	

A-4. PTZプロトコル(カメラ名リスト)一覧表

CNB Camera	LG LPT-A100L	PELCO-CM6700
ERNA	MINI-PT-DOME	PELCO-D:2400
SPD-1600	WPT1-1-V15	DONGYANG DRX-502A
HRX-700	SAMSUNG MRX-1000	DONGYANG DRX-500
DY-255	WOOJU(DRX-502A)	DONGYANG DSC-240
SJ-100	HITRON SCANDOME II	DONGYANG DPC-100
NEWBORN DOME	CANON VC-C4	DONGYANG DSC-230M
NIKO NK-97	ELMO PTC-200	DONGYANG DSC-230S
VC-C50i	SENSOMATIC PTZ	WON WOO
WV-CS850	KALATEL KTD-312	DYNACOLOR DSCP
SCC-641	VICON 422R	SONY EVI-D30
DS-120	VICON VPS1300	SAMSUNG MPT-230
MERIT LI-LIN	VICON V2311RB3	C100HM
TRC-DSCP	COSTAR 2500	SPD-3300
LG MULTIX	BOSCH	PELCO-D PROTOCOL
SD290	SK-D106	PELCO-D PROTOCOL
ELBEX	SANYO(HSSP)	- - - - (指定なし)

- * プロトコルは入っておりますが動作保証をするものではありません。
- * 弊社で動作確認しておりませんのでご購入前に必ずお客様で動作確認をして下さい。

A-5. 対応USBメモリー 一覧表

メーカー名	商品名	USB規格
SONY	POCKET BIT	USB2.0
IOデータ	Tote Bag	USB2.0
BUFFALO	Clip Drive	USB2.0
	Clip Drive mini	USB2.0
	RUF2-EL-BLシリーズ	USB2.0

A-6. 録画期間表

9/16chDVR (SDN2712CD/SDS4812CD) 録画時間表

【フレーム数：合計フレーム数】 【単位：日数】 *録画モード：常時録画

HDD 容量		250GB						
解像度 (画素)	フレーム/秒 画質	9 フレーム/秒	16 フレーム/秒	18 フレーム/秒	32 フレーム/秒	48 フレーム/秒	96 フレーム/秒	120 フレーム/秒
	352x240	5(最高)	24.9 日	14.0 日	12.5 日	11.4 日	10.3 日	6.7 日
4(高)		32.9 日	18.5 日	16.5 日	14.9 日	13.2 日	9.5 日	8.7 日
3(標準)		37.1 日	20.9 日	18.5 日	17.3 日	16.0 日	11.9 日	10.8 日
2(低)		47.3 日	26.6 日	23.6 日	20.5 日	17.3 日	14.0 日	12.5 日
1(ネットワーク)		63.3 日	35.6 日	31.6 日	27.5 日	23.2 日	17.1 日	16.0 日

HDD 容量		250GB					
解像度 (画素)	フレーム/秒 画質	9 フレーム/秒	16 フレーム/秒	18 フレーム/秒	32 フレーム/秒	48 フレーム/秒	60 フレーム/秒
	704x240	5(最高)	11 日	9.1 日	8.1 日	6.7 日	6.3 日
4(高)		21.1 日	11.9 日	10.6 日	8.7 日	7.9 日	7.1 日
3(標準)		24.9 日	14.0 日	12.5 日	11.3 日	10.4 日	9.5 日
2(低)		32.9 日	18.5 日	16.5 日	14.0 日	12.1 日	10.3 日
1(ネットワーク)		43.3 日	24.4 日	21.7 日	16.0 日	13.9 日	11.9 日

HDD 容量		250GB			
解像度 (画素)	画質	9 フレーム/秒	16 フレーム/秒	18 フレーム/秒	30 フレーム/秒
	704x480	5(最高)	12.9 日	7.2 日	6.4 日
4(高)		16.5 日	9.3 日	8.2 日	6.7 日
3(標準)		21.1 日	11.9 日	10.6 日	9.5 日
2(低)		24.9 日	14.0 日	12.5 日	9.9 日
1(ネットワーク)		28.4 日	16.0 日	14.2 日	12.5 日

- ・解像度 352x240 の場合、120 フレーム/秒が最大
- ・解像度 704x240 の場合、60 フレーム/秒が最大
- ・解像度 704x480 の場合、30 フレーム/秒が最大

* 録画期間はカメラの撮影条件や環境により一定ではない為、あくまで録画期間の目安として参考までにご利用ください。

・ A-7 保証書

保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
 お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された内容により修理、または交換致します。
 ※修理は、お買い上げの販売店に必ずこの保証書を添えてご依頼下さい。
 ※この保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

型式:	シリアルNo:
保証開始日:	年 月 日 より1年間
お客様	貴社名
	ご住所
	電話番号

販売会社	会社名

保証規定

○次のような場合は、保証期間内でも対象外となります。

- ・本保証書のご提示が無い場合
- ・本保証書の所定事項の未記入、また字句を書き換えられた場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障
- ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取り扱いが不適当な為生じた故障
- ・接続している他の機器に起因して生じた故障
- ・取扱説明書に記載の使用方法又は注意に反するお取扱によって生じた故障
- ・弊社以外の業者による、改造、調整、部品交換などをされた場合。
- ・消耗品の交換

***HDDの損傷につきましては、保証の対象外です。**

本保証書は、日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】
 本保証書は、保証書の規定に明示の期間無償修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の有償修理などについてもお受けいたします。尚、修理によって交換された製品及び部品は株式会社店舗プランニングにその所有権が移転します。詳しくはお買い上げの販売店あるいは株式会社店舗プランニングにお問い合わせ下さい。

※本製品及び本製品の取扱説明書の内容の一部又は全部を弊社の承諾なしに複製する事は出来ません。

本製品を運用した結果の他の影響につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。

本製品は将来改良の為に予告無く変更する場合があります。

本製品、又はこの機器をシステムの一部としてご利用になる製品を販売される場合は弊社までご相談下さい。

メモ

ネットワーク設定

項目	設定値
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	. . .
ローカルIPアドレス	. . .
DDNSアドレス	. ipdvrfree . com
サブネットマスク	. . .
ゲートウェイ	. . .
ネットワークパスワード	
備考	

ルーター設定

項目	設定値
ID	
パスワード	
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	. . .
ローカルIPアドレス	. . .
サブネットマスク	. . .
ゲートウェイ	. . .
備考	

ルーターID(初期値)例:admin , administrator , root

ipdvrfree.com 設定 (<http://www.ipdvrfree.com>)

USER ID	
パスワード	

販売代理店